

横浜市生涯学習

令和 7 年度事業概要

横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課

Ⅰ 横浜市の生涯学習施策の推進

1 教育委員会	01
2 区役所	01
3 推進体制	02

Ⅱ 事業概要

1 教育委員会事務局生涯学習文化財課（生涯学習係）

(1) 生涯学習情報の提供	03
(2) 生涯学習指導者の育成、関係職員の研修	03
(3) 横浜市民の読書活動推進	05
(4) その他	06

2 生涯学習を推進するための施設

(1) 教育委員会事務局生涯学習文化財課関連施設	
ア 市民活動・生涯学習支援センター	08
イ 横浜市社会教育コーナー	08
ウ 横浜市歴史博物館	08
エ 横浜開港資料館	09
オ 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館	09
カ 横浜市三殿台考古館	10
キ 横浜市八聖殿郷土資料館	10
(2) 図書館施設	
横浜市中央図書館、各地域図書館	11

3 地域の生涯学習 ～区における生涯学習推進・支援

(1) 地域振興課について					
ア 社会教育の推進	13				
イ 青少年の健全育成	13				
ウ 地域スポーツの振興	13				
エ 地域の文化振興	14				
オ その他関連課等	14				
カ 市民活動・生涯学習支援センター	14				
(ア) 相談件数及び設備・機材利用件数	15				
(イ) 相談内容の傾向など	16				
(2) 各区地域振興課及び市民活動・生涯学習支援センター令和7年度事業概要	17				
鶴見区	18	保土ヶ谷区	42	青葉区	66
神奈川区	22	旭区	46	都筑区	70
西区	26	磯子区	50	戸塚区	74
中区	30	金沢区	54	栄区	78
南区	34	港北区	58	泉区	82
港南区	38	緑区	62	瀬谷区	86

I 横浜市の生涯学習施策の推進

1 教育委員会

国際化、高度情報化、少子高齢化の進展や地域課題の多様化といった社会情勢の変化を踏まえ、生涯学習の視点からの市民の自発性に基づく学習の支援と社会のさまざまな課題に対応した生涯学習施策を推進するとともに、地域における課題解決に向けた取組が進むための仕組みづくりなど、さまざまな支援を行っています。

生涯学習施策の方向性にあたっては、令和5年2月に策定された第4期横浜市教育振興基本計画2022-2025に基づき、生涯学習施策を推進しました。

なお、令和8年3月に第5期横浜市教育振興基本計画を策定しました。

第4期 横浜市教育振興基本計画 2022-2025（2023（令和5）年2月策定）

柱8 市民の豊かな学び

【施策1】生涯学習の推進

●目標・方向性

- ・市民活動・生涯学習支援センター、横浜市社会教育コーナー、区役所を中心に、市民の生涯学習の推進を支えます。
- ・市民の社会参加のすそ野を拡大し、地域の課題解決に取り組む活動を活性化するため、「社会参加のすそ野の見える化」や「社会参加を促す人材育成と活用」のための取組を推進します。

●主な取組

1 生涯学習の推進

- ・市民の社会参加を促すコーディネーター人材の育成支援
- ・体験型社会教育プログラム「子どもアドベンチャーカレッジ」の実施

※「施策2 新たな図書館像の構築及び読書活動の推進」、「施策3 横浜の歴史に関する学習の場の充実」省略

詳しくは、横浜市ホームページ『第4期横浜市教育振興基本計画』をご覧ください。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/kyoikuplan/4th-kyouikuplan.html>)

2 区役所

区役所は、市民に最も身近な行政機関として地域行政を総合的に推進する中で、地域振興課を中心として、地域における生涯学習の推進・支援を各区の実態や実情にあわせて進めています。

平成6年11月から市民の自主的な学習活動を支援し、区における生涯学習の一層の推進を図るため、学習相談員を配置し、生涯学習支援センター事業を開始しました。

その後、市民局が平成 15 年 11 月に策定した「市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン」により、区版市民活動支援センターの展開にあたっては、生涯学習支援センターなどの類似事業との複合化につとめるという方針が示されました。このガイドラインに従って、各区では順次、生涯学習支援センターと市民活動支援センターとの複合化が進められ、平成 20 年度をもって全区で、生涯学習と市民活動を一体的に支援する複合型の支援センターが開設されました。

なお、具体的な生涯学習に関する事業の進め方や内容等については、各区の判断で進められています。

3 推進体制

● 横浜市社会教育委員会議

設 置	昭和 26 年 3 月設置
設置根拠	横浜市社会教育委員条例など
職 務	社会教育に関し、教育委員会に助言します。
構 成	社会教育関係者、家庭教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等 10 名
連絡先	045-671-3282

- 横浜市社会教育コーナー（市内に一か所） … 詳しくは、p.8 をご覧ください。
- 社会教育主事(補)、社会教育指導員（各区配置） … 詳しくは、p.13 をご覧ください。
- 市民活動・生涯学習支援センター（各区） … 詳しくは、p.14 をご覧ください。

II 事業概要

1 教育委員会事務局生涯学習文化財課（生涯学習係）

TEL：045－671－3282

(1) 生涯学習情報の提供

生涯学習ページ（横浜市ウェブサイト内）

学習しやすい環境づくりを目指して、学びのきっかけとなるような役立つ情報を、生涯学習ページ「はまなび」で提供しています。（平成9年7月開始）

内 容 生涯学習トップページの主な内容

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/gakusyu.html>)

こちらからもホームページにつながります▶

○はまなび ○生涯学習施設

○報告書・パンフレット・審議会答申

○生涯学習文化財課主催講座・イベントのご案内 など



(2) 生涯学習指導者の育成、関係職員の研修

生涯学習・市民活動・地域支援関係新任職員向け研修

生涯学習や市民活動支援に必要な基礎的知識や役割等について研修を実施しています。

（市民局市民協働推進課、地域活動推進課と3課合同で実施）

対 象 各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員、社会教育関係職員、地域力推進担当職員

実 績 令和7年度 参加者数：73 人

開催日 令和7年4月22日、5月16日

会 場 横浜市教育委員会事務局花咲研修室 305、市民協働推進センタースペース AB

内 容 横浜市の施策・方針等、市民協働とは、地域力推進担当の役割、支援センターの役割、生涯学習と社会教育等について学びました。

各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員新任者フォローアップ研修

各区における生涯学習や市民活動支援について、初年度を振り返り、課題を見つけ、次年度に向けた目標設定等のために実施しています。（市民局市民協働推進課と合同で実施）

対 象 新任の市民活動・生涯学習支援センター担当職員と支援センター職員

実 績 令和7年度 参加者数：17 人

開催日 令和8年3月16日

会 場 市民協働推進センタースペース AB

内 容 新任者研修内容（市の方針、役割）の振り返りと、相談対応力向上のためのワークを実施しました。

市民活動・生涯学習支援担当職員研修

市民の学びや活動の支援に携わる職員を対象に、生涯学習や社会教育、市民活動に関する理解を深め、地域の課題解決に必要な知識を学ぶための研修を実施しています。

対 象	各区市民活動・生涯学習支援センター関係職員、社会教育関係職員、地域力推進担当職員
実 績	令和7年度 参加者数：延べ112人
開催日	① 令和7年7月24日 @市民協働推進センタースペースAB
方法等	② 令和7年9月25日 @市民協働推進センタースペースAB ③ 令和7年12月2日 @市民協働推進センタースペースAB
内 容	① 地域の市民活動支援センターの役割とスタッフの仕事（講義とワーク） ② 市民活動・生涯学習支援センターに必要なコミュニケーション（講義とワーク） ③ 支援センターにおける相談対応研修～NPO・ボランティアグループを支える相談に必要な視点（講義とワーク）

出前研修（4回実施）

生涯学習に関わる職員の能力向上と研修内容を職員で共有することを目的に、研修を希望する区に対して講師等が出向き、各区で研修を実施しています。

対 象	社会教育主事（補）、社会教育指導員、市民活動・生涯学習支援センター職員、支援センター担当職員等、その他生涯学習・社会教育関係職員
実 績	令和7年度 参加者数：延べ35人
開催日 ・ 会場	① 【南区】 令和7年5月21日 @みなみ多文化共生ラウンジ ② 【港北区】 令和7年11月10日 @港北区役所 ③ 【神奈川区】 令和8年3月9日 @神奈川区役所 ④ 【中央図書館】 令和8年3月12日 @中央図書館
内 容	① 街の先生登録更新時のヒアリング実践 ② 「まちの先生」事業のブラッシュアップ ③ 「ズレから始まる対話 ～職場の対話を整えるヒント～ ④ 地域コーディネート研修（入門）

社会教育研究会

社会教育関係職員が各区の生涯学習・社会教育に関する調査・研究を行います。

対 象	社会教育主事（補）、社会教育指導員
実 績	令和7年度 参加者数：延べ75人
開催日 ・ 会場	① 令和7年6月27日 @横浜市社会教育コーナー ② 令和7年10月21日 @横浜市社会教育コーナー ③ 令和8年1月19日 @横浜市社会教育コーナー
テーマ	社会教育の基礎知識
内 容	① 社会教育の基礎知識 ② 担い手育成事業の実践をふりかえり、語り合い、それぞれの事業に活かす ② 地域の担い手育成講座に必要な要素を整理する

(3) 横浜市民の読書活動推進

乳幼児期から高齢期まですべての市民を対象とした読書活動の推進

令和7年3月に「第三次横浜市民読書活動推進計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）」を策定しました。本計画は、乳幼児から高齢者まで全ての横浜市民の読書活動を総合的に推進するものです。第二次横浜市民読書活動推進計画（令和元年度～令和5年度）からの変更点として、4つの基本姿勢と3つの柱で再編し、基本姿勢には「デジタル社会に対応した読書環境の整備の推進」、柱には「読書バリアフリーの推進」を新たに加え、社会情勢の変化に対応しながら取り組んでいきます。

内 容 第三次横浜市民読書活動推進計画

以下の法律や条例に基づき、策定しました。

- ①子どもの読書活動の推進に関する法律（以下「子ども読書法」という）
- ②横浜市民の読書活動の推進に関する条例（以下「読書条例」という）
- ③視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（以下「読書バリアフリー法」という）

【基本姿勢】

- 1 デジタル社会に対応した読書環境の整備の推進（新規）
- 2 区の地域性に応じた読書活動推進
- 3 協働・共創による読書活動推進
- 4 読書活動推進を支える人材の育成

【計画体系】

柱1 未来を担う子どもたちの読書活動の推進（子ども読書法）

柱2 市民の読書活動の環境と機会の充実（読書条例）

柱3 読書バリアフリーの推進（読書バリアフリー法）

教育委員会は、広報活動や読書活動の普及啓発イベントなど全市的な読書活動を推進します。

区役所・図書館・学校はこれまでの読書活動推進の取組の中で築かれた連携基盤を生かし、引き続き地域全体で読書活動を推進します。

よこはまこども読書パーク

次の事項を目的に、広く市民を対象とした読書イベントを実施します。

- (1) 民間事業者等との連携による、読書活動の普及啓発
- (2) 本を介して人と人とがつながるきっかけづくり
- (3) 読書バリアフリーに関する市民理解の促進
- (4) 普段読書をしない市民が読書をするきっかけをつくる

対 象 市民全般

開催日 令和8年3月28日

会 場 横浜市役所アトリウム、市民協働スペース、北プラザ、多目的スペース

内 容 本の販売会、絵本作家・児童文学作家によるワークショップ・おはなし会、コンサート、誰もが楽しめる図書を集めた読書バリアフリー展示、移動図書館、ロボットによる絵本のクイズ体験

主 催 横浜市教育委員会

実 績 令和7年度 出展企業・団体等：12団体（書店等）、参加者：約700人

(4) その他

二十歳の市民を祝うつどい

二十歳を迎えた市民を祝い励ますとともに、成人としての社会的責任を改めて自覚し、横浜への愛着を深めてもらうことを目的として実施します。(昭和38年度開始)

対 象	横浜市内在住の二十歳の方
開催日	成人の日（1月第2月曜日・祝日）
会 場	横浜アリーナ
内 容	記念式典等
主 催	横浜市、横浜市教育委員会、二十歳の市民を祝うつどい実行委員会
実 績	令和7年度（令和8年1月12日実施） 対象者：34,645人（うち参加者：22,175人）

子どもアドベンチャーカレッジ

横浜市内の小学生を対象に、「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するため、夏休み期間を活用し、民間企業や団体、大学、公的機関（以下、企業・団体等）などの協力を得て、多様な体験学習プログラムを実施します。

対 象	横浜市内在住または在学の小学3～6年生 ※プログラムによって年齢制限あり
開催日	令和7年8月5、6、7、8日
会 場	市内各所（横浜市役所、企業等）
内 容	・みなとみらい線お仕事体験（横浜高速鉄道株式会社） ・シーサイドライン車両基地を探検しよう！（株式会社横浜シーサイドライン） ・ホテルシェフと一緒に「五味五感」を学び、調理&試食を楽しもう（一般社団法人全日本司厨士協会 関東総合地方本部神奈川県本部） ・クルマのロボットを動かしてみよう！（マツダ株式会社 マツダ R&D センター横浜）
主 催	横浜市、横浜市教育委員会
実 績	令和7年度 88プログラム 参加者：2,343人（小学生）

成人教育講座

市民の人権意識を育むため、地域で自主的学習の機会となる成人教育講座を団体に委託し、開催します。(昭和53年度開始)

対 象	横浜市内在住・在勤の成人
開催日	令和7年11月14日、令和8年1月23日
会 場	かながわ労働プラザ
内 容	自主グループ、団体が人権問題全般に関する講演会を実施します。
実 績	令和7年度 2講座2回 参加者数：93人（延べ人数）

横浜市歌の普及

1909 年（明治 42 年）に横浜開港 50 周年を記念して創られた横浜市歌を、広く市民に親しんでいただけるように努めています。 作詞：森 林 太 郎（^{りん た ろ う} 鷗外） 作曲：南 能 衛（^{よし え}）

内 容

- ・市歌利用に関するご相談等へのご案内
 - ・ホームページ掲載資料を利用できない方に対する楽譜の配布、郵送
 - ・横浜市歌（移調改訂編曲版）の CD（「横浜市歌 楽譜（CD 付）」）の貸出 *販売は終了
生涯学習文化財課（市庁舎 14 階）、市民情報センター資料カウンター（市舎 3 階）、
横浜市立図書館（全 18 館の郷土資料コーナー等に配架）
- ※ 市ホームページからも、曲をお聞きいただけます。楽譜のダウンロードもできます。
（<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shika/sika.html>）

こちらからもホームページにつながります。▶



生涯学習事業への共催・後援

生涯学習の振興を図るため、各団体が自主的に実施する事業に対し、共催および後援を行います。

対 象

生涯学習関係団体が主に横浜市内を会場にして行う事業

実 績

令和 7 年度 後援件数：190 件

2 生涯学習を推進するための施設

(1) 教育委員会事務局生涯学習文化財課関連施設

ア 市民活動・生涯学習支援センター

※ 詳しくは、p.14をご覧ください。

内 容	相談・コーディネート・ネットワークづくり/ 情報発信/ 情報収集/人材の発掘・育成・活用/ 施設間のネットワーク構築/ 講座・イベント/場の提供・機材の貸出
実 績	令和7年度 相談件数：12,737 件 設備・機材利用件数：42,761 件 ※p.15「相談件数及び設備・機材利用件数」参照
連 絡 先	045-671-3282

イ 横浜市社会教育コーナー

市民の生涯学習・社会教育の推進のため、自主事業の企画・実施や情報提供、相談対応、場の提供をします。また、生涯学習・社会教育関係職員の人材育成のための研修の企画・実施、相談対応を行います。

設 置	昭和 57 年 5 月 1 日
所 在 地	〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-6-1-1
開館時間	9 時～21 時（日曜日・祝日は 17 時まで）
休 館 日	年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、施設点検日（原則第 1 月曜日）
施設概要	延床面積：789.182 m ² 、スポーツ広場：800 m ² 研修室 A・B・C、アートルーム、トレーニングルーム、交流スペース等
実施事業	社会教育士を目指す人のための基礎講座、よこはま社会教育士ネットワークなど
運営主体	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク
実 績	令和 7 年度 施設利用者数：44,608 人
連 絡 先	045-761-4321

ウ 横浜市歴史博物館

古代から開港期までを中心とした横浜の歴史に関わる資料を収集、保管するとともに、調査研究を進め、その成果を展示などにより公開することで、市民の学習活動及び学術、文化の発展に寄与します。

設 置	平成 7 年 1 月 31 日開館
所 在 地	〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
開館時間	9 時～17 時（ただし、入館は 16 時 30 分まで） ※ 野外施設について：その他の公園施設、歳勝土遺跡部分については 24 時間オープン
休 館 日	月曜日（祝日を除く）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
施設概要	敷地面積：7,278.52 m ² 延床面積：9,269.66 m ² 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造地上 6 階地下 1 階 1 階 駐車場、エントランスホール、ミュージアムショップ 2 階 常設展示室、歴史劇場、スタディサロン、企画展示室、体験学習室、図書閲覧室、講堂、研修室

	野外施設「大塚・歳勝土遺跡公園」
	所在地：〒224-0028 横浜市都筑区大塚西1番（代表地番）
	面積：約6.6ha
	主な利用施設：【遺跡復元・再現施設】 ・大塚遺跡 復元竪穴住居7棟、復元高床倉庫 型どり復元遺構1か所、環濠約250m ・歳勝土遺跡 復元方形周溝墓5か所、再現墓道約100m 【その他の博物館施設】工房 【その他の公園施設】解説板、地形模型（1か所）、体験広場
運営主体	（公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）
実績	横浜市歴史博物館 令和7年度 常設・企画展示室入館者数：77,464人 ※令和7年9月8日から11月21日まで工事のため休館
連絡先	045-912-7777

エ 横浜開港資料館

開港期を中心とする横浜の歴史に関する資料を収集・保存・調査・研究し、その成果を広く市民に公開することにより、市民の横浜の歴史に対する理解を深め、文化の向上に寄与します。

設置	昭和56年6月2日開館
所在地	〒231-0021 横浜市中区日本大通3（旧英国総領事館）
開館時間	9時30分～17時（ただし、入館は16時30分まで） ※閲覧室開室時間は9時30分～12時、13時～17時
休館日	月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月28日～1月3日） ※閲覧室は上記の休館日のほか、月末整理日、資料整理週間等
施設概要	建築面積：976.22㎡ 構造：鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階 延床面積：2,904.88㎡、旧館は旧英国総領事館
運営主体	（公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）
実績	令和7年度 常設・企画展示室入館者数：40,240人
連絡先	045-201-2100

オ 横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館

横浜都市発展記念館は、開港期以降の横浜の都市形成の歴史、市民生活の変遷及び横浜がはぐくんだ文化に関する資料を収集し、保管し、展示し、及び展示資料として市民の利用に供するとともに、その学習、調査等のため必要な事業を行うことにより、ふるさと意識の醸成、国際平和等に資するとともに、市民の学習、学術及び文化の発展に寄与します。

横浜ユーラシア文化館は、ユーラシアの文化に関する資料を展示し、及び保管し、並びにこれらの資料を中心としてユーラシア諸地域の文化交流に関する調査研究等を行い、その成果を広く市民に公開することにより、国際文化都市横浜の発展に寄与します。

設置	両館とも 平成15年3月15日開館
所在地	両館とも 〒231-0021 横浜市中区日本大通12（旧横浜市外電話局）

開館時間	両館とも 9時30分～17時（ただし、入館は16時30分まで）
休館日	月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月28日～1月3日）
施設概要	構造：鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階 建築面積：579.59㎡ （内、地下収蔵庫 1階受付及び事務室 2階ユーラシア常設展示室 3階企画展示室 4階都市発展常設展示室）
運営主体	（公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）
実績	横浜都市発展記念館 令和7年度 常設・企画展示室入館者数：39,148人 横浜ユーラシア文化館 令和7年度 常設・企画展示室入館者数：36,634人
連絡先	045-663-2424

力 横浜市三殿台考古館

三殿台遺跡の出土品を中心に公開展示します。

設置	昭和42年1月31日開館
所在地	〒235-0021 横浜市磯子区岡村4-11-22 国指定史跡三殿台遺跡内
開館時間	4～9月：9時～17時、10～3月：9時～16時
休館日	毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
施設概要	考古館本館 122.0㎡（収蔵庫 66.0㎡ 事務室・展示室56.0㎡） ・住居跡保護棟 ・復元住居模型 3棟 ・縄文式模型（中期・加曽利式E式期）、弥生式模型（中期・宮ノ台式期） ・古墳時代模型（後期・鬼高式期） ・遺構の標示施設（住居跡、その他遺構の位置、模型、形を石柱で標示）
運営主体	（公財）横浜市ふるさと歴史財団（指定管理者）
実績	令和7年度 入館者数：9,534人
連絡先	045-761-4571

キ 横浜市八聖殿郷土資料館

庶民の生活用具であった民俗資料を中心に収集を行い、公開展示しています。併せて安達謙蔵氏より寄贈された八聖像を保有しています。

設置	昭和48年3月29日開館
所在地	〒231-0822 横浜市中区本牧元町76-1 本牧臨海公園内
開館時間	9時30分～16時
休館日	第3水曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
施設概要	延床面積：892.75㎡ 構造：RC塔屋、地下室付銅板付葺2階建 屋外展示棟 資料展示室、図書閲覧室
運営主体	（公財）横浜市ふるさと歴史財団
実績	令和7年度 入館者数：12,995人
連絡先	045-622-2624

(2) 図書館施設

横浜市中心図書館（1館）、各地域図書館（17館）

市民の生涯学習を支援・促進する場として、図書館資料の提供を行います。

設 置
所 在 地
開 館 時 間

大正 10 年から事業開始

【P.12 [横浜市立図書館一覧]参照】

	中央図書館	地域図書館 (山内図書館を除く)	山内図書館
火～金曜日	9:30～20:30 ※おやこフロア 9:30～17:00	9:30～19:00	9:30～20:30
土・日・月、祝(休)日	9:30～17:00		
年末年始	9:30～17:00 (12月28日)、12:00～17:00 (1月4日)		

休 館 日
施 設 概 要
事 業 概 要

施設点検日（月 1 回）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、図書特別整理日

【中央図書館】建物延面積：21,834.36 m² 鉄骨鉄筋コンクリート造地上 5 階地下 3 階

① 館内事業

- ・ 図書館資料の収集、閲覧
- ・ 図書館資料の利用相談、レファレンス（調査相談）
- ・ 講習会、展示会、おはなし会などの事業や読書普及活動

② 貸 出

- ・ 個人貸出…全館あわせて 1 人 10 冊まで、14 開館日の貸出を実施
- ・ 団体貸出…読書活動の振興を目的として、横浜市内に図書設置場所を置き、団体や地域で図書を活用している団体で、500 冊まで 1 年間貸出を実施
(中央、保土ヶ谷、金沢、港北、山内、戸塚図書館で実施)
- ・ グループ貸出…横浜市内で読書に関する活動をしている、会員 5 人以上のグループに 30 冊まで 30 日間貸出を実施

③ 図書取次

予約した図書の貸出・返却ができる図書取次サービスを、市内 12 か所で実施

④ 電子書籍

1 人 2 点まで 2 週間の貸出を実施

⑤ 移動図書館

移動図書館「はまかぜ号」で、2 週間の間隔で市内 30 か所を巡回、個人貸出を実施

⑥ 障害者支援

- ・ 視覚障害者等支援…対面朗読、録音図書・点字図書の貸出等を実施
- ・ 配送貸出…来館困難な心身障害者を対象に実施

連 絡 先

【P.12 [横浜市立図書館一覧]参照】

横浜市立図書館一覧

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

館名	設立年月日	所在地	電話番号
中央図書館	H6.2.22	〒220-0032 西区老松町 1	262-0050
鶴見図書館	S55.1.10	〒230-0051 鶴見区鶴見中央 2-10-7	502-4416
神奈川図書館	S62.10.21	〒221-0063 神奈川区立町 20-1	434-4339
中図書館	H1.5.21	〒231-0821 中区本牧原 16-1	621-6621
南図書館	H4.12.2	〒232-0067 南区弘明寺町 265-1	715-7200
港南図書館	S62.1.21	〒234-0056 港南区野庭町 125	841-5577
保土ヶ谷図書館	S57.5.7	〒240-0006 保土ヶ谷区星川 1-2-1	333-1336
旭図書館	S61.5.14	〒241-0005 旭区白根 4-6-2	953-1166
磯子図書館	S49.10.6	〒235-0016 磯子区磯子 3-5-1	753-2864
金沢図書館	S55.5.15	〒236-0021 金沢区泥亀 2-14-5	784-5861
港北図書館	S55.8.27	〒222-0011 港北区菊名 6-18-10	421-1211
緑図書館	H7.5.9	〒226-0025 緑区十日市場町 825-1	985-6331
山内図書館	S52.4.12	〒225-0011 青葉区あざみ野 2-3-2	901-1225
都筑図書館	H7.4.25	〒224-0032 都筑区茅ヶ崎中央 32-1	948-2424
戸塚図書館	S53.11.1	〒244-0003 戸塚区戸塚町 127	862-9411
栄図書館	H1.3.14	〒247-0014 栄区公田町 634-9	891-2801
泉図書館	H1.2.22	〒245-0016 泉区和泉町 6207-5	801-2251
瀬谷図書館	S60.1.17	〒246-0015 瀬谷区本郷 3-22-1	301-7911

3 地域の生涯学習 ～区における生涯学習推進・支援

区役所（18区）では地域振興課を中心に、市民に最も身近な行政機関として地域における生涯学習の推進・支援を各区の実情にあわせて進めています。また、地区センター、コミュニティハウスなどの区民利用施設でもさまざまな事業を実施しています。

（1）地域振興課について

昭和44年、婦人・青少年などの社会教育関係団体の育成、学級・講座などの社会教育事業の実施、社会体育の振興等を図るため各区に「社会教育係」（当時）が設置されました。

平成6年、市民の学習ニーズの多様化に伴い、また生涯学習支援の観点から、地域の生涯学習施策を総合的に推進するため、機構改革により「社会教育係」と「地域文化振興担当」とを統合して「生涯学習支援係」に名称を変更し、充実・強化を図ってきました。

平成16年から、地域の実情にあわせ、「生涯学習支援係」の名称をとっていない区もあります。

ア 社会教育の推進

環境、人権、福祉、教育、地域社会の問題などの現代的な課題をテーマに学習する学級・講座、つどいを開催するなどの事業を行っています。事業の実施にあたり、次の専門職員を配置しています。

社会教育主事（補）

1970（昭和45）年から区における社会教育の振興を目指し、各区地域振興課の職員1名を兼任の形で社会教育主事又は社会教育主事補として教育委員会が任命しています。

設置根拠 社会教育法 第9条の2

職務内容

- ・区における社会教育行政の企画・実践・計画に関すること
- ・社会教育における調査研究に関すること
- ・各種学級・講座、集会等の開設・運営・実施に関すること
- ・社会教育関係団体の指導者の研修に関すること
- ・社会教育関係団体との連絡調整に関すること 等

実績 令和7年度配置数：18人

社会教育指導員（会計年度任用職員）

1973（昭和48）年から、各区の地域振興課に1名ずつ配置しています。

設置根拠 横浜市社会教育指導員設置要綱

職務内容 市民の社会教育活動に対する指導及び助言を中心に、生涯学習の支援に関する業務を行う。

イ 青少年の健全育成

地域における青少年の健全育成活動を進めるため、次の事業等を行っています。

○青少年育成事業 ○青少年団体への支援 等

ウ 地域スポーツの振興

地域におけるスポーツの振興や区民の健康づくりを進めるため、次の事業等を行っています。

○スポーツ推進委員事業 ○スポーツ大会・教室の実施 等

エ 地域の文化振興

地域における文化振興を図るため、次の事業等を行っています。

○文化祭・コンサートの開催 ○文化団体の支援 ○文化活動の支援 等

オ その他関連課等

地域振興課の他、総務課（人権、選挙啓発等）、区政推進課（まちづくり等）、福祉保健センター（高齢者、障害者、地域福祉、健康づくり、母子保健等）の部署で様々な生涯学習事業を実施しています。

カ 市民活動・生涯学習支援センター

市民の自主的な学習活動や地域活動が活発化し、これらの活動に対する支援体制の充実とサービス拠点の整備が求められるようになったことを背景に、平成6年11月から順次「生涯学習支援センター」を設置しました。（平成12年度、18区に設置完了）さらに、平成16年度から平成20年度にかけて、順次区版市民活動支援センターとの複合化が進み、名称を「市民活動・生涯学習支援センター」とし、学びと活動を支援するセンターとして、更なる機能の充実が図られています。

市民活動・生涯学習支援センターでは、次の事業を実施しています。

（市民活動支援センター事業展開ガイドライン（令和4年3月改訂）に準ずる）

相談、コーディネート、ネットワークづくり

地域での活動に関心のある人、すでに地域で活動をしている個人・団体等からの活動等に関する相談への対応、地域の様々な主体をつなぐコーディネート・ネットワークづくりなど

情報発信

ニューズレターや冊子の発行、ホームページ、SNSの活用、メールマガジンの発行など

情報収集

団体登録、知識や技術を活かすボランティアの登録、活動団体や現場訪問、地域施設間の情報共有など

人材の発掘・育成・活用

区民企画講座の実施、活動機会の提供、地域施設間の情報共有など

施設間のネットワーク構築

地域施設間の情報共有会議等の実施・参加、地域施設・組織への訪問等による情報の共有など

講座・イベント

きっかけ作り講座、団体スキルアップ講座、体験講座、利用者懇談会・交流会、センター祭り、地域施設・団体との協働イベントなど

場の提供・機材の貸出

会議室・ミーティングコーナーの提供、利用者の活動に必要な機材の貸出、コピー機・印刷コーナーの設置など

(ア) 相談件数及び設備・機材利用件数

区	相談件数(件)		設備・機材利用件数 (件)						総利用件数	
			①	②	③	④	⑤			
	令和7年度	前年度	会議室等	ミーティング コーナー等	印刷機 (輪転機)	パソコン コーナー	機材貸出	令和7年度	前年度	
鶴見	232	182	541	1,642	190	4	316	2,693	2,817	
神奈川	424	242	264	446	324	0	226	1,260	1,184	
西	303	331	0	3,244	208	0	11	3,463	3,887	
中	250	672	1,335	1,585	255	0	1,498	4,673	5,116	
南	1,108	1,407	1,989	509	116	0	945	3,559	3,559	
港南	722	732	390	7,698	268	93	184	8,633	7,338	
保土ヶ谷	254	297	969	1,114	800	80	426	3,389	3,550	
旭	93	217	601	869	356	0	250	2,076	2,602	
磯子	1,555	1,736	454	221	409	0	104	1,188	1,168	
金沢	3,301	4,137	412	0	227	0	97	736	897	
港北	556	1,040	104	25	106	0	209	444	544	
緑	582	741	965	671	230	46	584	2,496	2,443	
青葉	633	437	0	254	111	0	92	457	445	
都筑	505	459	0	672	356	19	216	1,263	1,419	
戸塚	1,201	1,292	1,062	2,026	134	16	556	3,794	3,620	
栄	414	339	296	244	599	0	292	1,431	1,156	
泉	336	331	119	0	0	0	58	177	194	
瀬谷	268	196	0	290	393	3	343	1,029	1,038	
合計	12,737	14,788	9,501	21,510	5,082	261	6,407	42,761	42,977	

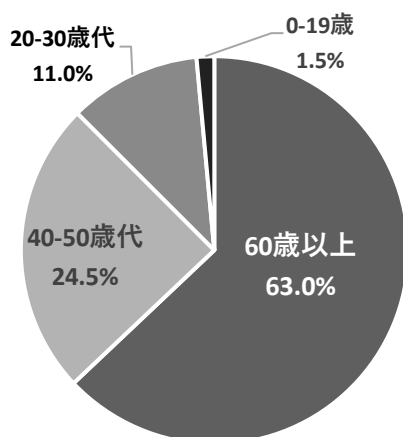
- ◇ 「0」は「設置なし」又は「カウントせず」を意味します。
- ◇ 会議室数やミーティングコーナーのテーブル数などは、各区により異なります。
- ◇ 本ページで取り扱っている件数は、「相談件数」と「設備・機材利用件数」についてまとめたものであり、市民活動・生涯学習支援センターの利用者総数や訪問者数を示すものではありません。
また、区によって保有する機材や会議室の数、開館時間、支援センター職員の人数等の設置状況が異なるため、一概に比較できるものではありません。

(イ) 相談内容の傾向など

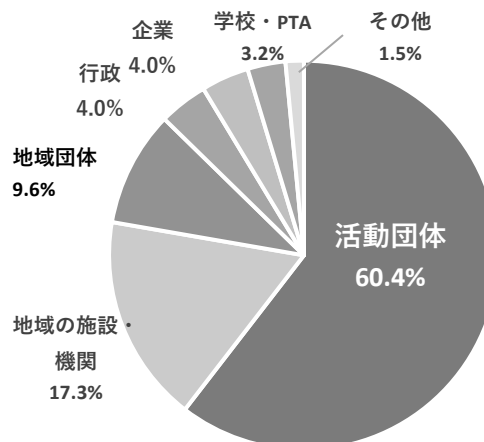
	相談内容	令和7年度	前年度
1	何かをはじめたい	587	541
2	地域課題	73	62
3	講座・イベント・教室等を探している	1,445	1,310
4	学習や活動の場所・施設・機関・モノを探している	781	1,042
5	学習や活動の人材、グループ・団体等を探している 情報を知りたい	1,901	2,210
6	人材、グループ・団体等として登録したい。活動したい	1,119	992
7	グループ・団体を立ち上げたい	46	38
8	グループや団体の人材	115	70
9	事業の企画、広報、PR	1,097	1,011
10	学習や活動の資金・財源	37	38
11	活動のための制度や法律、財務・会計・労務など	46	21
12	センターの施設利用・事業など	3,204	4,909
13	行政について	66	57
14	企業や商店街などについて	23	32
15	学校や大学など教育機関について	17	22
16	他の機関について	68	41
17	その他	2,864	3,384

- ◇ 1件の相談に対し、複数のコードを選択している場合があります。
そのため、前ページの相談件数の合計とは一致しません。

【個人相談の年齢別内訳】



【相談団体の内訳】



(2) 各区地域振興課及び市民活動・生涯学習支援センター令和7年度事業概要

本章では、各区地域振興課や市民活動・生涯学習支援センターの令和7年度事業概要について、地域のニーズや特色をとらえた事業を中心に紹介しています。

鶴見区	鶴見区地域振興課 (p.18)	つるみ区民活動センター (p.20)
神奈川区	神奈川区地域振興課 (p.22)	神奈川区区民活動支援センター (p.24)
西区	西区地域振興課 (p.26)	にしく市民活動支援センター (p.28)
中区	中区地域振興課 (p.30)	なか区民活動センター (p.32)
南区	南区地域振興課 (p.34)	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ (p.36)
港南区	港南区地域振興課 (p.38)	港南区民活動支援センター (p.40)
保土ヶ谷区	保土ヶ谷区地域振興課 (p.42)	ほどがや市民活動センター アワーズ (p.44)
旭区	旭区地域振興課 (p.46)	旭区市民活動支援センター みなくる (p.48)
磯子区	磯子区地域振興課 (p.50)	いそご区民活動支援センター (p.52)
金沢区	金沢区地域振興課 (p.54)	金沢区民活動センター ゆめかもん (p.56)
港北区	港北区地域振興課 (p.58)	港北区区民活動支援センター (p.60)
緑区	緑区地域振興課 (p.62)	緑区市民活動支援センター みどりーむ (p.64)
青葉区	青葉区地域振興課 (p.66)	青葉区区民活動支援センター (p.68)
都筑区	都筑区地域振興課 (p.70)	都筑区民活動センター (p.72)
戸塚区	戸塚区地域振興課 (p.74)	とつか区民活動センター (p.76)
栄区	栄区地域振興課 (p.78)	さかえ区民活動センター (p.80)
泉区	泉区地域振興課 (p.82)	いずみ区民活動支援センター (p.84)
瀬谷区	瀬谷区地域振興課 (p.86)	瀬谷区民活動センター (p.88)

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民による生涯学習、スポーツ、文化活動、青少年育成、国際交流などの自主的な活動を支援するとともに、自主的・自発的な地域活動のきっかけとなるような多様な学習機会を提供します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 地域文化・区民活動等推進事業	・つるみ区民活動センターにおいて、学びや活動のきっかけづくり、活動及び発表の場の提供等、活動の段階に応じた多様な支援を行い、区民の自主的な活動や学びを推進しました。 ・区民に文化・芸術活動を発表する機会や、身近な場所で気軽に文化・芸術に触れられる機会を提供することによって、区内の文化交流や文化振興を推進しました。
(1) つるみ区民活動センター事業	・活動団体や活動を始めようとしている個人・団体の支援、学習相談、情報収集、情報提供、市民活動や生涯学習の情報紙「あぶりお」の発行（6回／年）、ホームページ、X（旧Twitter）、地域の情報発信媒体（タウンニュース等）も利用し、情報提供を充実しました。 ・「つるみMACHI塾」では、区内の生涯学習や市民活動等への関心を高める講座を全2回開催し、地域コミュニティの活性化や区活の認知度向上につながる講座と交流を開催しました。 ・鶴見区の生涯学習ボランティアの活動を紹介する「鶴見人ネットフェスタ」、地域の活動団体を紹介する市民活動紹介展「鶴魅力」、この2つのイベントをパワーアップさせ「つるみ区民センターまつり」として開催しました。 ・区民利用施設職員を対象とした研修会を開催し、施設間の顔の見える関係作りを進め、つながりを強化しました。
(2) 地域文化推進事業	鶴見区文化協会が主催する鶴見区民文化祭の開催を支援しました。これにより様々な分野で文化活動をしている区民に発表の場を提供するとともに、芸術文化鑑賞の機会を提供し、文化活動への参加を促しました。
(3) 読書推進事業	「第三次鶴見区読書活動推進目標」の取組として鶴見図書館と連携し、読書講演会を開催しました。
2 青少年育成事業	地域社会における青少年の自主的活動と、その育成組織活動を推進することにより、青少年の健全育成を図りました。
(1) 青少年指導員事業	青少年の健全な育成に向けて、より良い地域環境をつくるため、青少年指導員が行う活動に対し、支援を行いました。
(2) 青少年交流活動推進事業	青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、地域の青少年が理系分野に興味を持つ機会を作ることにより、科学と理科の側面から青少年の健全育成を推進しました。
(3) 学校・家庭・地域連携事業	区内の中学校区における学校・家庭・地域が連携した青少年の問題行動防止や健全育成活動事業に補助金を交付し支援しました。
3 区民スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興を目的とする諸団体の活動支援を通じ、団体の育成を行いながら区民の健康増進、地域コミュニティの形成を図りました。
(1) 鶴見区スポーツ協会への補助事業	鶴見区スポーツ協会に補助金を交付し、様々な区民スポーツ大会を支援することにより、区民がスポーツを身近に楽しむ機会を提供しました。
(2) トップスポーツチーム連携事業	トップスポーツチームとの連携により、区民向けスポーツ観戦企画や区民まつり等での地域交流を支援しました。
(3) スポーツ推進委員事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、スポーツ推進委員が行う活動に対し、支援を行いました。
5 多文化のまち・つるみ推進事業	多文化共生推進の拠点となる鶴見国際交流ラウンジの運営を委託し、外国につながる子どもたちの学習支援や、ボランティアの育成等を行いました。
6 鶴見区民まつり支援事業	区民のふるさと意識を醸成し、相互の交流や親睦を深めるため、各フェスティバル実行委員会の企画・運営を支援しました。
7 区民利用施設の管理・運営	区民利用施設での事故を防止し、利用者の安全を確保するために、施設の点検や修繕を行いました。

● **鶴見国際交流ラウンジ**
(多文化のまち・つるみ 推進事業)

日本語能力が不十分な外国籍・外国につながる子どもたちの日本語及び教科学習を支援するため、小 中学生を対象に学習支援教室を開催しました。



学習支援教室の様子

開催日	ア 小学生対象学習支援教室「あおぞら」 日時：第 1・第 3 土曜日 10:00~12:00 イ 中学生対象の学習支援教室「なないろ」 日時：毎週月曜日 17:00~18:30 ウ 小学生高学年対象学習支援教室「T-Kids サテライト」 (会場 鶴見大学) ※令和7年7月開始 日時：月1~2回 土曜日 14:00~16:00 エ 夏休み宿題教室 日時：8月18日、19日、21日、22日 10:00~12:00 オ 新鶴見小学校コミュニティハウス夏休みサテライト宿題教室 日時：8月8日、9日 10:00~12:00
参加者数	参加児童生徒総数 1,796 人、サポーター総数 1,561 人 (いずれも延べ人数)
市民の声	「入試対策に役立った」 「学校の授業について行けなかったが、授業が理解できるようになった」

● **青少年育成サイエンス交流事業 (青少年交流活動推進事業)**

横浜サイエンスフロンティア高等学校と協働し、森永製菓株式会社協力のもと、異なる年齢間の子どもたちが、チョコレートの乳化についての講義と実験を通じて交流する「チョコレートを科学する〜おいしさのひみつ〜」を開催しました。

開催日	令和7年8月6日
参加者数	20 人
市民の声	「(高校生が) 小学生の様子を見守りながらサポートするという機会がほとんどないので大変勉強になった」 「普段生活している中では、知る機会のないお話を聞くことができてよかった」 「乳化やチョコレートについて詳しくなれた」



実験の様子

● **つるみ読書講演会 (読書推進事業)**

鶴見・建功寺の住職にして、世界的な庭園デザイナーの枡野俊明氏を講師としてお招きし、著書に込めた思いや読書にまつわるエピソード、GREEN×EXPO 2027 の横浜開催を踏まえ、自然との共生について、語っていただきました。

開催日	令和7年12月13日
参加者数	324 人
市民の声	「共生について考えるきっかけになった」 「現代社会の課題と絡めていてよかった」 「著書にはないエピソードが聞けた」



講演会の様子

● 団体支援事業「つるみ区民活動センターまつり」

つるみ区民活動センター登録団体と生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録者の活動をパネルと演技で紹介する「つるみ区民活動センターまつり」を開催しました。

演技部門 23 団体、展示部門 52 団体の参加者が、楽器演奏、ダンス、マジック、合唱などバラエティーに富んだ演目を多くの観客の前で披露しました。



参加団体のパフォーマンス

開催日	令和8年2月15日（日曜日）10時～16時
参加者数	570人（来場者・出演者含む）
市民の声	「多様な団体の活動が一度に見られて良かったです」 「地域の活動を知るきっかけになりました。活動の広がりが見えて、親しみを感しました」 「老若男女の参加が好印象だった。活気があって、元気をもらえました」



活動紹介パネル展示

● 生涯学習・社会教育事業「つるみ MACHI 塾」（つるみ区民活動センター事業）

区内の市民活動団体と連携して、より幅広い世代を対象に、市民活動へ参画するきっかけをつくる講座を実施しました。

開催日	第1回：令和7年9月13日 第2回：令和7年10月27日
参加者数	50人
参加者の声	「初めての参加でしたが、とても勉強になりました。」（第1回） 「丁寧な説明でとてもわかりやすく、理解が深まりました。時間配分も丁度良く、大変満足できる企画でした」（第2回） 「知らない事ばかりだった。これからまた散策する時は、今日のガイドの話の思い出しながら巡りたいです。」（第2回）



第1回：鶴見の魅力を見つけに行こう！
～講座＆活動体験～



第2回：鶴見みどころガイドの会と
行く見どころ再発見！

● 読書活動推進支援及び団体活動支援

「大人が楽しむおはなし会+みんなで朗読体験」（つるみ区民活動センター事業）

鶴見区読書活動連絡会所属施設として読書活動推進につながる機会の提供と、区民活動センター登録団体の活動支援として開催しました。

開催日	令和8年11月29日（土曜日）14時～15時
参加者数	19人
参加者の声	「初めての体験をさせていただきました。なかなか声を出して読む事が少なくなり、大切なことを思い出しました。」



朗読体験の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民が自発的に行う文化・スポーツ・青少年育成等の活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。また、区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習支援事業	
(1) 生涯学級事業	区民が運営委員会を組織し、企画・運営をしている生涯学習講座を開催しました。運営委員同士のつながりや、講座の運営方法のスキル等が深まる中で、運営委員会から区民活動の核となる人材が羽ばたいていくことを目指しています。
(2) 区民活動支援センター事業	区民がよりよい地域づくり、住みやすいまちづくりを目指す、自主的で自立した市民活動・生涯学習活動を支援するとともに、事業を通じて区民との協働を推進しました。 また、区民活動支援センターの事業として、各種活動支援講座を開催しました。
(3) かながわ湊フェスタ支援事業	区内で活動する多種多様な市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRする場とするとともに、かながわ湊フェスタへの参加をきっかけに、市民活動団体・生涯学習団体や活動者同士が交流を深めることで活動の活性化を図りました。
2 スポーツ振興事業	
(1) 区スポーツ協会支援事業	区スポーツ協会の活動を支援し、年間を通じて各種スポーツ大会・教室等を開催することにより、生涯スポーツの促進を図りました。
(2) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を支援し、スポーツ・レクリエーション活動を推進することにより、区民の健康増進、地域コミュニティの実現を図りました。
3 文化活動支援事業	
(1) 文化活動支援事業	区民音楽祭、文化展等、地域文化の振興を図る区文化協会の活動を支援しました。
(2) 読書活動推進事業	第三次神奈川区読書活動推進目標に基づき、区民の読書活動を推進するため、講演会を開催しました。
4 青少年育成事業	
(1) 青少年パワー発揮事業等	区子ども会育成連絡協議会の活動支援や、青少年の活動を披露する「B-SKY FES（ビー・スカイ・フェス）」の開催支援を通して、青少年の健全育成と地域の活力向上を図りました。
(2) 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援し、親子ふれあい型事業など、青少年の健全育成を目的とした事業を実施しました。
5 多文化共生ラウンジ	
外国人材受入・共生推進事業	神奈川区多文化共生ラウンジの運営支援を通じて、在住外国人の安心・安全な生活の確保を進めます。

● 神奈川区生涯学級

区民による自主活動グループ（運営委員会）を立ち上げ、地域活動の担い手となるような人材の育成を目指しています。それぞれの運営委員会が企画・運営まで携わった「神奈川区生涯学級」を開催し、区民と共に地域課題の解決を目指しています。

開催日 令和7年10月～令和8年2月

主な活動 子育て・国際・環境をテーマに連続講座を企画



令和7年度区民企画型講座の様子

● かながわ湊フェスタ 2025

～神奈川区区民活動支援センター活動PR展～

市民活動団体・生涯学習団体等が自らの活動をPRし、活動者同士が交流を深める場として、神奈川公会堂で開催しました。また、来場者が生涯学習・市民活動を始める手がかりとなることで、いきいきと活動する区民を増やし、地域の活性化を図りました。

開催日 令和7年11月2日

参加者数 38団体が参加、約1,100人が来場



2025年開催時の様子

● 読書活動推進講演会

第三次神奈川区読書活動推進目標に基づき、区民の読書活動を推進するため、講演会を開催しました。

令和7年度は、英語学習をテーマに開催し、読書の楽しさが1人でも多くの区民に広がるように取り組みました。

開催日 令和8年1月17日

講師名 遠山 顕氏（（有）コミュニケーション代表）

参加者数 185人



令和7年度読書活動推進講演会 チラシ

● 神奈川区多文化共生ラウンジ

市内13番目の国際交流ラウンジとして開設し、外国人市民に対して、日常生活を中心とする様々な情報の提供、相談対応や地域ボランティアによる支援の場の提供等を身近な場で行うことにより、共生を図っています。

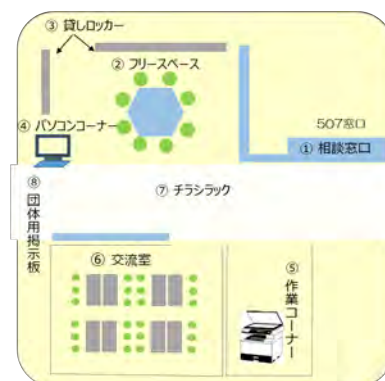
開設日 令和6年3月5日



施設内部

神奈川区区民活動支援センター

住 所	神奈川区広台太田町 3 - 8 神奈川区総合庁舎 5 階
交 通	J R 東神奈川駅、京浜急行京急東神奈川駅、 東急東横線反町駅 各駅から徒歩 7 分
電 話	045 - 411 - 7089
F A X	045 - 323 - 2502
利用時間	8 : 45 ~ 17 : 00
休 館 日	土日・祝日・年末年始



センターの特長

神奈川区区民活動支援センターは平成 16 年 9 月、横浜市では最初にできた市民活動・生涯学習支援センターです。神奈川区は、海に面していることから、鎌倉時代から神奈川湊（みなと）として賑わい、江戸時代には東海道沿いで神奈川宿として栄えるなどして発展してきました。

現在は、「海」と「緑」と「丘」のある表情豊かな街として多くの区民に愛されています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- これから市民活動やボランティア活動、生涯学習をしたい人や活動を広げたい人、様々な分野の学習機会を求めている人に講座・イベント・施設・人材等の情報提供や学習相談を行います。

情報発信

- 団体情報「団体サークルガイド」・人材情報「かながわ区民助っ人 B A N K」の冊子発行等を通じて、生涯学習やまちづくり、教育、福祉などの幅広い分野でボランティア活動をしたい人と、ボランティアを頼みたい人との橋渡しをします。

場の提供・機材の貸出

- 交流室：市民活動団体、生涯学習グループの打合せや会議ができます。（要登録）
- ミーティングスペース：資料整理、情報収集、情報閲覧、打合せがいつでもできます。

神奈川区区民活動支援センター 令和7年度 主な実施事業

●活動者支援

「みんなの文化祭～想いのバトンをつなげよう～」

コロナ禍で活動継続の問題を抱えている活動者の、モチベーション維持・向上に向けた後方支援として開催し、今回で5年目。

ワークショップやステージ等「街の先生」の活動を区民向けにPR・体験する場となっています。

開催日 令和7年7月23日ほか

参加者数 延べ266人

市民の声 「夏休みの自由研究のひとつになり助かる」



みんなの文化祭

●地域デビュー講座

「パソコン・スマートフォン講師養成講座」

地域でニーズの高い、ITに長けたボランティア講師の養成を目的として開催しました。

開催日 令和7年9月12日ほか全4回

参加者数 延べ4人

講師名 ITカメの子おたすけと
(神奈川区区民活動支援センター登録団体)

市民の声 「非常に役に立った。地域活動に有効だと思った」



地域デビュー講座の様子

●施設間連携事業

「神奈川区地域施設間連携会議」

区内35施設を対象に、第1回目は連携の意義・取組の講義及びグループワーク、第2回目は「区民が新たなコミュニティを形成するための施設の役割とは」をテーマに学ぶことを通して、施設担当者の顔の見える関係性づくり・ネットワーク構築を図りました。

開催日 令和7年6月9日ほか

参加者数 延べ70人

講師名(第2回) 特定非営利活動法人C Rファクトリー
代表理事 呉 哲煥 氏

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、学びや活動によって自らの課題を自らの手で解決する力を高め、主体的に社会参加していくことを目標としています。

そのために、区民の自発性に基づく学習・文化・スポーツ活動等の振興と、社会のさまざまな課題に対応した各種生涯学習事業を推進するとともに、地域における連帯意識の醸成を図るための環境整備や支援を進めています。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援関係	
(1) にしく市民活動支援センター事業	市民活動がより活発化され、誰もがいきいきと生活できる元気な地域が創られるように、市民活動や生涯学習を支援しました。
(2) 市民活動・生涯学習支援事業	「西区今昔かるた」を使ったイベントや展示会を開催しました。
(3) 読書活動推進事業	区民の方々が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校等が連携して読書活動の推進に取り組みました。
2 地域文化振興関係	
(1) 西区文化協会活動支援事業	絵画、書道、写真等の作品を展示する創作展の開催や、西区の歴史や著名人を紹介する情報誌「にしぶんか」の発行に係る事業を支援しました。 また、日本文化を伝承する詩吟・民謡・日舞・琴尺八などの芸能祭、お茶会を開催しました。
3 青少年関係	
(1) 青少年育成団体支援事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員の活動を支援しました。
(2) 西区子ども会支援事業	西区子ども会、西区文化協会と連携し、子ども囲碁・将棋教室や、子ども書道教室を開催しました。書道教室を通じて出来上がった作品は、西区役所内にある区民ホールに展示し、子ども書道展として公開しました。また、子ども会育成者研修も実施しました。
4 スポーツ関係	
(1) スポーツ活動団体支援事業	スポーツ推進委員の活動や、スポーツ協会の事業等を支援しました。
(2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル事業	区内の各種団体で構成される西区スポーツ振興事業推進委員会により、区民の健康づくりや西区の魅力発見等につながるコースを設定し、ウォーキングイベントを開催しました。

● 「西区今昔かるた」を使ったイベント等の開催

「西区今昔かるた」を使ったイベントや展示会を開催し、かるた遊びを通じた西区への愛着醸成や、西区の今昔を学ぶきっかけ作りにつなげました。

イベント	開催日：令和7年7月23日（水）
	会場：横浜市役所アトリウム
	参加者：177人
展示会	開催日：令和7年11月26日（水）～12月14日（日）
	会場：中央図書館
市民の声	「かるた遊びを通じて、西区の魅力を再発見できた」



「西区今昔かるた」フェスティバルの様子



「西区今昔かるた」絵札・読み札展示の様子

● 読書活動推進講演会

横浜市出身の作家・原田 ひ香さんを講師に迎え、神奈川大学の学生を交えて、「物語と出会う場所」をテーマに、ご自身の著作の執筆秘話や読書の魅力について講演会を開催し、さまざまな方法での読書活動の魅力を広く発信しました。

開催日	令和7年12月13日（土）
参加者数	当日参加142人
講師名	作家・原田 ひ香さん



講演会の様子

● 西区ハマのウォーキングフェスティバル事業

第19回西区ハマのウォーキングフェスティバル

「ぶらり歴史街道 みなといらいへ」

幅広い世代を対象に、ウォーキングを通じた心と体の健康づくりの普及・啓発や、イベントを通じた西区の魅力再発見につなげました。

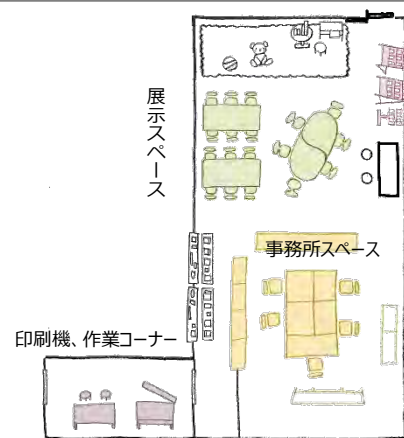
開催日	令和7年11月30日（日）
開催場所	戸部公園運動広場（スタート）～臨港パーク潮入りの池（ゴール）
参加者数	1,008人



第19回ハマのウォーキングフェスティバルの様子

■ にしく市民活動支援センター

住 所	西区中央 1 - 5 - 10 西区役所 1 階
交 通	京浜急行戸部駅 徒歩 8 分 相鉄平沼橋駅 徒歩 10 分
電 話	045-620-6624
F A X	045-620-6624
利用時間	9 : 00 ~ 17 : 00
休 館 日	水曜 (祝日含む)・年末年始



にしく市民活動支援センター「にしとも広場」の特長

にしく市民活動支援センターは、西区役所 1 階にあり、明るくオープンな、居心地のよい空間です。区役所や区内施設と連携し、つながりのハブ・情報のハブとなり、地域の皆様の活動がより広がるよう運営しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。
相談者と活動者をつなぎ、ネットワークづくりを支援しています。

情報発信・収集

各種登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、情報誌の発行等を行っています。
センターのホームページの他、SNS も活用し、タイムリーな情報を発信しています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する人達「人財バンク」の登録、紹介（コーディネート）を行っています。主催する講座や相談等を通して、地域で活動する人材の発掘・育成をしています。

場の提供・機材の貸出

ミーティングスペース（18人以下）で講座・イベント、会議・打合せができます。印刷機や紙折り機が使えます。プロジェクターやマイク等の貸出があります。

● 西区街の名人・達人による「にしとも音楽祭」

「西区街の名人・達人」に登録する音楽活動者が運営委員会を結成しイベントを企画・運営しました。活動者と地域を音楽でつなぐ場となり、地域からの依頼が増えました。

事業名	にしとも音楽祭
開催日	令和7年6月22日
開催場所	西公会堂
参加者数	出演者：12組 / 来場者：のべ250名



会場全体が一体となりました

● 中央図書館まると見学ツアー

中央図書館と連携し、図書館に親しむ見学ツアーを企画・運営しました。10代から80代までの多世代が参加し、区内の社会資源を知り、活用度を高める機会となりました。

開催日	令和7年10月3日
参加者数	18名
参加者の声	「大人向けのツアーがあってよかった」 「電子書籍を利用してみたら便利でした」 「図書館をより身近に感じられました」



バックヤードの見学が好評でした

● 地域活動訪問レポート

スタッフが地域活動の現場を直接取材し、市民の視点で分かりやすい言葉でホームページから発信しました。取材を通して活動者や施設との信頼関係も深まり、ネットワークづくりにつながりました。

取材先の一例	伊勢一親子ひろば（伊勢町一丁目町内会館） ちくせんカフェ（西地区センター） 地域防災拠点訓練（西前小学校） にしろく・ふれ愛寄席（三ッ沢ハイタウン集会室） おやじの時間（戸部本町地域ケアプラザ）
--------	---



区内10か所をレポートしました

● 情報紙「にしとも広場」

情報紙『にしとも広場』（カラーA4冊子/全8ページ/各3000部/2026年3月）を発行しました。第25号では「西区今昔かるた」に関わる人々の座談会や、地域で活動する人のインタビュー記事を掲載し、街への愛着が活動の源にあることを伝えました。



情報紙『にしとも広場』第25号

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民が市民力を発揮して新しい公共を創造し、地域の様々な課題解決の担い手となっていけるよう、区民の活動を段階に応じて育成・支援するとともに、活動に有効な情報提供を行います。

また、区役所内各課、区内各施設との連携を一層深め、青少年指導員やスポーツ推進委員等と協力して、区民が楽しみながら活動し、学び、地域に親しむ機会を提供することを目的とする事業を企画し、実施します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 市民活動支援事業	「なか区民活動センター」を拠点に、市民活動団体の活動支援やボランティア人材の活躍の場の創出・コーディネート、区民利用施設との連携事業等を行いました。
(2) 生涯学習支援事業	地域で活躍する人材の育成や、生涯学習・人材活用のための事業等を実施しました。
(3) 文化活動支援事業	中区で活動する文化活動団体の自立を図るとともに催事の魅力を高めるため、地域の文化事業の支援を行いました。
(4) 読書活動推進事業	区内の施設や団体と連携し、区民の読書推進及び施設・団体間の連携強化を目的としたイベント等を実施しました。
2 多文化交流事業	
(1) なか国際交流ラウンジ運営事業	「なか国際交流ラウンジ」を運営し、外国人市民に情報提供するとともに、日本語教室の開催や外国につながる若者の居場所作り、多文化共生理解事業等を行いました。
3 青少年育成事業	
(1) 青少年指導員事業	青少年指導員による、地域社会における青少年育成活動の支援等を行いました。
(2) 青少年活動への補助事業	区内青少年団体の活動を支援するため、補助金の交付を行いました。
3 地域スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の支援を行いました。
(2) 区民スポーツ促進事業	区民の生涯にわたる健康増進と地域社会の連帯を図るため、ランニングクリニックやラジオ体操指導者講習会を開催しました。また、区スポーツ協会に対し各種区民スポーツ大会の開催支援等を行いました。
(3) インクルーシブスポーツ推進事業	年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進するため、体験会やボッチャ交流大会を開催しました。

● 区民企画型養成講座(全4回・実践講座1回)

子育て世代を中心に、仲間づくりや地域の課題解決について理解を深め、実際の活動へとつなげる事を目的とした講座を開催し、受講後は、中区の立地の特性や興味関心を共有しながら内容を検討。市民向けの実践講座「中華街の秘密ズボラ薬膳で整う」を企画・運営し、すべて一時託児付きで実施しました。

開催日 講座：令和7年9月10日、17日、24日、
10月1日

実践講座：令和8年2月21日

開催場所 なか区民活動センター

参加者数 講座：10名
実践講座：15名（市民参加）



区民企画型養成講座の様子と
実践講座後の受講者たち

● 中区多文化フェスタ

なか国際交流ラウンジの多文化共生ボランティアが中心となり、母国文化の紹介やワークショップを行いました。「あなたと世界がつながる日」をテーマに、地域住民をおもてなしすること、多文化共生理解の推進を目的として実施しました。

【主なワークショップ】

多文化交流コーナー（中国、タイ、韓国、ネパール、日本）
アジアのごはん（食販） / 展示（中区の多文化共生他） /
いけ花体験等

開催日 令和7年12月13日

参加者数 約560人



中区多文化フェスタの様子

● インクルーシブスポーツ体験会

障害の有無や年齢等に関わらず、誰でも気軽に楽しむことができるインクルーシブスポーツの魅力を広く知っていただけるよう、体験会を開催しました。今後もインクルーシブスポーツの普及を推進していきます。

開催日 令和7年6月1日

開催場所 大さん橋ホール

参加者数 約250人

【体験できる主なスポーツ】

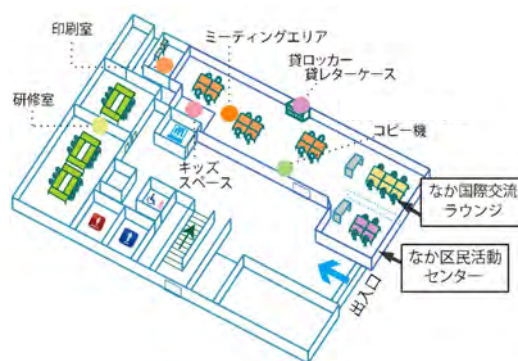
- ナインボール
- ボッチャ
- モルック
- ラダーゲッター



モルック体験の様子

なか区民活動センター

住 所	中区日本大通 35 中区役所別館
交 通	JR 関内駅（南口）より徒歩 7 分 市営地下鉄関内駅（1 番出口）より徒歩 7 分 みなとみらい線日本大通り駅（3 番出口）より徒歩 4 分
電 話	045-224-8138
F A X	045-224-8343
利用時間	月曜～金曜 9:00～21:00 土曜・日曜 9:00～17:00
休 館 日	第 1、3、5 日曜・祝日・休日・年末年始



センターの特長

なか区民活動センターは、横浜市の中心部に位置し、アクセスも良好です。平日夜間や土日も開庁しており、区内だけでなく区外・市外在住の方からも多くご利用をいただいております。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- ボランティア・子育て・教育・国際・スポーツ・文化など様々な分野のチラシを配架しています。
- 新しく学習・市民活動を始める方の相談を受け付けています。

情報発信・収集

- なか区民活動センターの情報紙「なかぼぼら」を隔月で発行し、団体の活動に役立つ情報を PR しています。
- なかく街の先生を紹介する「なかく街の先生ガイド」、区民利用施設で活動するサークル・団体を紹介する「なかく活動ガイド」を発行・配布しています。

人材の発掘・育成・活用

中区のボランティア人材バンクである「なかく街の先生」を登録・運営し、各種施設や地域・学校等に対して、事業やイベントで活躍できる講師を紹介しています。

場の提供・機材の貸出

- ミーティングエリア：コピー機（有料）
- 印刷室：印刷機（有料）・紙折機

なか区民活動センターに登録している市民活動団体は、研修室や貸出用のパソコン・プロジェクター・ロッカー・レターケースなどを無料で利用できます。

● 団体支援事業

なか区民活動センター祭り

中区民まつり「ハローよこはま」と同日開催で登録団体等が音楽、ダンスなどの発表や日頃の団体活動の展示を行いました。

開催日 令和7年11月9日

参加者数 約800人



なか区民活動センター祭りの様子

よろずアップ企画

登録団体の支援を目的に登録団体（計6団体）と共催で事業を行いました。

団体支援講座

登録団体の支援を目的に「アサーティブコミュニケーション」の講座を実施しました。

● 人材活用事業

街の先生オープン講座

なかく街の先生の活用を目的に、区民利用施設で講座を開催しました。

- バルーンアート・ぬり絵缶バッチ作りワークショップ（中スポーツセンター）
- 多文化運動会ひばり体操出展（なか国際交流ラウンジ）
- 歴史講座（山元小学校コミュニティハウス）
- 日本舞踊エクササイズ（中区社会福祉協議会）
- ピラティス初心者講座（蓑沢地域ケアプラザ）

フラワーアンドグリーンフェスタ

なかく街の先生、登録団体、区内の高等学校華道部2校等が花にまつわるワークショップや展示を行いました

開催日 令和7年5月25日

参加者数 約700人



なかく街の先生ガイド 表紙

なかく街の先生ガイド発行（3月発行）

仕事や趣味で培った自分の経験・知識・技術を、地域のさまざまな活動に役立てるボランティア人材を紹介するガイドを更新しました。

● 区民利用施設連携事業

区民利用施設スタンプラリー

区民利用施設のPRを目的に、25施設を巡るデジタルスタンプラリーを実施しました。

開催日 令和7年10月15日～11月29日

参加者数 約300人



区民利用施設スタンプラリーチラシ

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

地域活動に参加するきっかけづくりや、区民ニーズにあった市民活動の情報提供に努めています。

また、区民が主体となって実施する事業を支援し、地域のつながりをひろげ、担い手育成を推進しています。さらに、地域の特性や課題を視野に入れながら、人材育成や地域文化・スポーツの振興などをめざして事業を展開しています。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習の推進	
(1) みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ事業 (市民活動支援センター及び国際交流ラウンジ)	市民活動支援講座の開催や情報提供、相談及びコーディネート、活動の場の提供を通じ、地域の生涯学習・市民活動を支援しました。また、国際交流ラウンジとして、多言語での生活相談や情報提供、多文化共生ボランティアの派遣、活動支援による多文化共生の地域づくりに取り組みました。
(2) 南区生涯学習支援事業	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジと協働して、区民の学びの場の創出を行いました。
2 青少年育成事業	
(1) 青少年健全育成活動支援事業	青少年指導員協議会へ補助金を交付し、「ふれあいキャンプ」や「ボイス・オブ・ユース（青少年の主張）」を開催しました。また、運営ボランティアとして小中学生の受入れを行い、青少年の体験の機会を創出しました。
(2) 青少年指導員事業	青少年指導員とともに子どもたちが地域社会に参画する機会や学び・体験の場の創出など、青少年の健全育成を図りました。
3 地域スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通して、スポーツ・レクリエーションの振興を図りました。
(2) 区スポーツ協会への支援事業	区スポーツ協会と連携して「みなっちランニングフェスタ」を開催するなど、スポーツ振興を図りました。
4 区民文化活動支援事業	
(1) 南区文化祭支援事業	区民の文化活動を支援するとともに、南区の文化振興を図るため、区民が主体となる実行委員会に補助金を交付し、南区文化祭を実施しました。
(2) 「あったかみなみ」活動支援補助金	地域の活性化及び魅力づくり、にぎわいのあるまちづくりを目的に、区民が自主的・主体的に企画、実施する公共的な事業に対して補助金を交付し、活動の支援を行いました。
(3) 読書活動推進事業	第三次南区読書活動推進目標を策定しました。また、朗読コンサートや区内小学生の読書感想画展等を開催し、読書活動を推進しました。
5 一時託児事業	子育て世代の社会参加を促進するため、区の主催する事業への参加者に対し保育協力者（ボランティア）派遣を行いました。

●南区文化祭（ステージ発表・区民創作作品展）

区内で活動する文化団体が日頃の活動の成果を発表する場、団体同士の交流の場として開催しました。また、令和7年度は、第50回を記念して、様々な特別企画を実施しました。

○作って楽しむ体験コーナー

会場内で、実際に作品づくりを体験できるコーナーを設置。

○アートで楽しむ世界の文化体験

「多文化共生×アート」をテーマに、横浜国大留学生会館の留学生や、多文化ボランティアが、母国の文化を紹介しました。

開催日 令和7年11月1、2、3日

参加者数 延べ3,720人

- 内容
- ・みんなの合唱祭（コーラス）
 - ・区民ステージ（舞踊、ダンス、演奏）
 - ・フラ★フェスタ（フラダンス、ハワイアン音楽）
 - ・区民創作作品展（絵画、手工芸、書道）
 - ・茶席、かな削り体験
 - ・作って楽しむ体験コーナー
 - ・アートで楽しむ世界の文化体験



フラ★フェスタ



作って楽しむ体験コーナーの様子

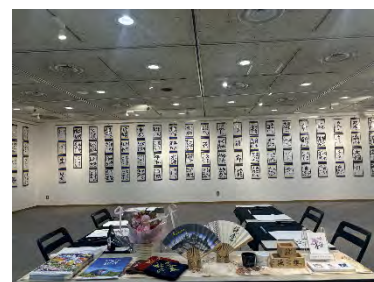


アートで楽しむ世界の文化体験

●「あったかみなみ」活動支援補助金

地域の活性化及び魅力づくり、にぎわいのあるまちづくりを目指し、区民が自主的・主体的に企画、実施する公共的な4つの事業に対して補助金を交付しました。

- 補助金
交付事業
- ①SDGs 書道展（SDGs 書道展実行委員会）
 - ②第3回日本語で歌う第九演奏会（横浜みなみ合唱団）
 - ③「桜の町♪みなっちとラララ元気チャージ!!」プロジェクト（「桜の町で♪」実行委員会）
 - ④マンガ de まぼろしの蒔田城発信盛り上げ隊（蒔田の吉良歴史研究会）



SDGs 書道展

●読書活動推進事業

平面プラネタリウムによる星空観察と「チェロと朗読でつづる『銀河鉄道の夜』」を開催したほか、区内小学校生の読書感想画展等の実施により、読書活動の推進を行いました。

読書活動推進事業「チェロと朗読でつづる『銀河鉄道の夜』」

開催日 令和8年2月11日

参加者数 99人（応募者数265人）



朗読コンサート

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

住 所	南区浦舟町 3 - 46 浦舟複合福祉施設 10 階
交 通	横浜市営地下鉄ブルーライン 阪東橋駅 徒歩 5 分 京浜急行本線 黄金町駅 徒歩 10 分
電 話	045 - 232 - 9544 （外国語：045 - 242 - 0888）
F A X	045 - 242 - 0897
利用時間	月曜～日曜 9：00～17：00
休 館 日	施設点検日（第 3 月曜）祝日、12/29～1/3



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ（通称：みなみラウンジ）の特徴

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、さまざまな分野の学習や市民活動に関する相談・情報の提供を通じて、地域の皆様の生涯学習や市民活動を支援しています。また、市内で唯一、国際交流ラウンジ機能を併設した市民活動センターとして、外国の人々が、南区で円滑な日常生活を送れるよう、情報提供や生活相談などを実施するとともに、日本人も外国人も垣根のない環境づくりに努めています。当ラウンジの利用には中高年齢の方が多くみられ、さまざまな学習や活動に対する意欲が伺われます。

施設の特徴

当施設は、地域ケアプラザやコミュニティハウス等の複合施設内にあり、広々とした館内は、明るく開放感にあふれ、晴天の日の西側の各部屋から見える富士山は、来場者にも好評です。掲示スペースでは、多言語に対応した生活や文化に関する情報等を入手することができます。市営地下鉄・京浜急行、バスなど交通の便がよく、近隣には横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜橋通商店街や三吉橋通商店街などがあり、多くの区民の活動圏内に接しています。

人材の発掘・活用

豊富な知識・優れた技術・技能・経験をお持ちの方に南区の「街の先生」として登録していただき、当ラウンジを通して、地域の施設、自治会町内会、放課後キッズクラブ、学童クラブなどに紹介し、市民の生涯学習やイベントなどで貢献していただいています。

場の提供・機材の貸出

研修室、多目的室、作業室、貸しロッカー・レターケース、キッズスペース、展示コーナー、ミーティングコーナー等〔機材〕 プロジェクター、ワイヤレスアンプ・マイク・パラバルーン・紙芝居舞台等。R6年度から外国語図書コーナーを開設し、子どもから大人まで利用できる書籍を配架しています。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 令和7年度 主な実施事業

● 市民活動支援講座

市民活動の活性化を目的に、活動に役立つ講座を実施し、市民活動の支援を行いました。

「目にとまる 心にとまる 広報のしかた」

南区で市民活動をしている方、する予定の方を対象に、仲間を増やし次世代の担い手につなぐため、みんなの目にとまる広報についての講座を開催しました。



講座の様子

開催日	令和7年12月11日
参加者数	24人
講師名	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事長 手塚明美氏
参加者の声	「自分の活動について、改めて言葉にすることの重要性を認識できた。」 「実践を交えた講座でとても良かった。今後の活動に活かせると思う。」

● 地域課題講座

地域が直面する地域課題の解決につなげるための講座を実施しました。

「南区の魅力を再発見！歴史を知って歩く吉田新田（全2回）」

街歩きを通じて南区の歴史や魅力を知り、まちへの愛着心や仲間を増やす機械にしてもらうことを目的に実施しました。

開催日	令和7年10月24日、10月31日（全2回）
参加者数	第1回：23人／第2回：12人
講師名	横濱界限研究家 河北直治氏 横浜みなみボランティアの会 近内孝博氏
参加者の声	「講座とまち歩きがリンクしていて良かった」



第2回街歩きの様子

● まるごとみなみ施設間連携事業

南区にある36の区民利用施設（地区センター、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、図書館、療育センター、公園、男女共同参画センター等）の担当で「顔の見える関係づくり、何かあるときに頼れる緩やかな関係をつくる」を目標とし、施設間がお互いを知り親しくなる場、情報を共有して連携していく場を提供し、地域の多様なニーズや課題の解決に一緒に取り組む全体交流会を実施しました。

第1回は「施設が繋がることで南区を元気にする未来マップを作ろう」、

第2回は「様々な地域ニーズをもとに自主事業の企画を考えよう」をテーマに実施しました。

開催日	令和7年6月3日、令和8年1月29日（全2回）
参加者数	第1回：17施設／第2回：16施設
講師名	第1回：未来マップファシリテーター 渡部友紀氏 第2回：参画はぐくみ工房 代表 竹迫和代氏
参加者の声	「グループワークが斬新で、新規自主事業の発想力が鍛えられた。」 「自分の所属する施設では出ない発想に気づくことができ楽しかった。」



全体交流会の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

港南区民が、地域・社会の一員でありたい、一員であることが誇りと実感できる活動・事業・場・人を創ることを目指し、様々な分野での区民の主体的な活動を支援します。

港南区民活動支援センターでは、市民活動・地域活動や生涯学習などが港南区で発展するように、相談・情報提供・コーディネート・機材の貸し出し・場の提供・講座開催などを通して活動を支援します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動・生涯学習支援事業	
(1) 区民企画運営講座	地域の課題などについて、同じ思いの人との交流を通し、考えを深めながら解決を目指す活動を行う団体のスタートアップを支援し、3つの講座を開催しました。
(2) 港南区「まなび」応援事業	区民や施設担当者への「生涯学習」の理解促進及び施設新規利用者の増加を目的に、複数の区民利用施設等による連携事業を支援し、6つの施設が連携して1事業を開催しました。
(3) 読書活動推進事業	「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」に加え、新たな柱である「だれでも（読書バリアフリーの推進）」の実現を目指し、港南区図書館と協働し、読書活動推進講演会の開催や大活字本の配布、読書支援機器の拡充による読書バリアフリーの推進など、読書に親しむ事業を実施しました。
2 区民活動支援センター運営事業	
(1) 区民活動支援センター運営事業	学習相談・市民活動に必要な情報提供・機材貸出しなどを実施することにより、区民の自主的な活動・学習を側面で支援しました。
3 青少年みらい応援事業	
(1) 地域で育て子どもたち事業	地域が実施する「子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業」に補助金を交付しました。
(2) 青少年活動事業	子ども会及び港南中央公園生き生きプレイパークが実施する青少年を対象とした事業を支援しました。
(3) 青少年文化スポーツ活動区長表彰	部活動などの文化・スポーツ活動において、優秀な成績を収めた区内の児童・生徒を表彰しました。
(4) ひまわりミュージックフェスタ	小中学生に合唱・合奏の発表の場を提供しました。
(5) こうなん子どもゆめワールド	子どもたちの自主性や創造性を育むきっかけと、イベントを通じた幅広い世代の交流の場を提供しました。
4 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を通じて青少年の健全育成に取り組みました。
5 地域スポーツ応援事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を通じてスポーツの振興を図りました。
(2) スポーツ協会への事業補助	区内のスポーツ団体が集まるスポーツ協会の活動を支援し、区民のスポーツ振興を図りました。
(3) 港南区健康ランニング大会	健康・体力づくりや地域交流の場として、小学生以上の幅広い年齢の区民を対象に、1月に開催しました。
6 地域文化推進事業	
(1) 文化振興事業	区民ホールで公開・参加型のアートワークショップ及び作品展示を実施し、区民が気軽に文化に触れる機会を創出しました。

● 港南区区民企画運営講座

地域の課題などについて、同じ思いの人との交流を通し、考えを深めながら解決を目指す活動を行う団体のスタートアップを支援しました。講座準備段階から深く関わりを持つことで、講座参加者が団体の運営委員の一員となるなど、社会参画に発展する動きがみられました。

運営委員からは、「団体にとって大きな経験となった」「講座終了後も、参加者同士で再開し、繋がることができた」などの声をいただきました。

実施団体 3 団体

参加者数 講座参加者総数（3 講座）：延べ 206 人



講座の様子①（Jazz 講座）



講座の様子②（身体のメンテナンス講座）

● 文化振興事業「ひかりの実 in ひまわりフェスタ」

子どもたちが身近な場で気軽に文化芸術に触れることができる場を目指し、アートワークショップを実施しました。完成した作品は港南公会堂前ひろばにて約 1 か月間展示を行い、昼夜問わず多くの区民に文化に触れていただく機会となりました。

参加者からは、「好きな人の笑顔を思い浮かべて描くというのがとても素敵だった。」などの声をいただきました。

開催日 ワークショップ：令和7年11月1日

作品展示：令和7年11月1日～12月2日

展示個数 約 600 個



「ひかりの実」展示の様子

● こうなん子どもゆめワールド 2025

「こうなん子どもゆめワールド 2025」は、晴天の中、約 2 万人の方にご来場いただき、大盛況となりました。「世界の屋台村」や働く車の体験乗車会など、58 の団体が子ども向けのブース出店を行ったほか、27 団体の子どもたちがステージ発表を行い、日頃の練習の成果を披露してくれました。また 37 人の子どもスタッフが、ステージ発表の司会や出店ブースの運営で大活躍しました。

6 年度から実施しているメタバース会場は、プラットフォームを変更したことで、より操作しやすくなるとともに、「こどもゆめスタジアム」などの新たなコンテンツを複数追加したことで、より楽しいメタバース会場となりました。公開期間中（11/1～11/30）に 8,820 件のアクセスをいただくことが出来ました。

開催日 令和7年11月1日

参加者数 2 万人



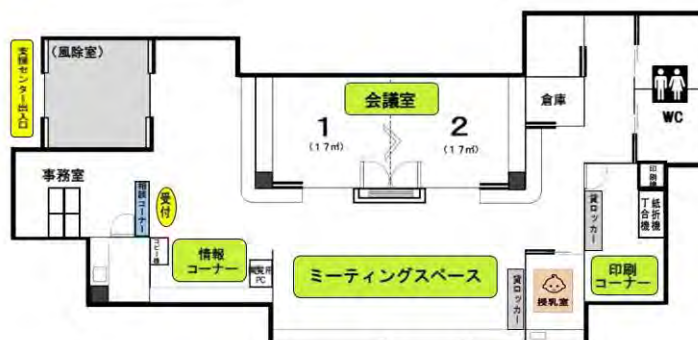
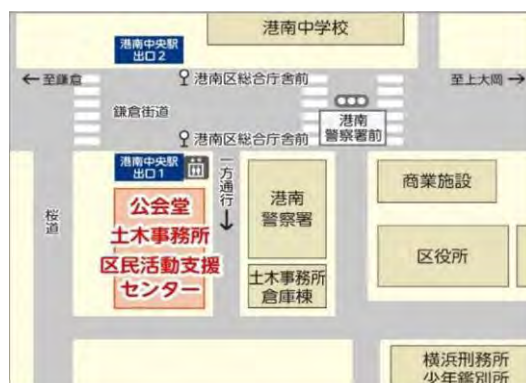
ステージ発表の様子



メタバース会場の様子

港南区民活動支援センター

住 所	港南区港南中央通 10-1 港南公会堂棟 1 階
交 通	市営地下鉄港南中央駅、 バス停「港南区総合庁舎前」下車すぐ
電 話	045-841-9361
F A X	045-841-9362
利用時間	9:00~17:00
休 館 日	毎週月曜・年末年始



港南区民活動支援センターの特長

港南区民活動支援センターは、区内 35 の区民利用施設等と「ネットワーク会議」や「スタンプラリー」を通じて連携し、港南区における地域活動の活性化をサポートしています。近年は自治会町内会向けに出前講座を行ったり、地域イベントにも積極的に参加しています。

活動の相談やコーディネート

相談内容に応じて、活動や学習に必要な情報・機材の提供、講師・施設などの紹介・コーディネートをしています。また、さまざまな知識や技術を地域活動に役立てたい方々の「街のアドバイザー」への登録・派遣依頼も随時受付しています。

交流の場やつながりづくり

区民利用施設を繋ぐ交流サイト「こうなんひまわりネットワーク」や、また「スタンプラリー」を通じ、地域の店舗や企業との新たな繋がりが生まれました。また活動を披露できるイベントや活動をサポートする講座を実施し、登録団体や講師の情報交換や交流の機会になっています。

情報の拠点

館内の情報コーナーには、地域の情報や講座、イベントのちらしを配架しています。また活動団体・街のアドバイザーを紹介する冊子（街のアドバイザーリスト）やセンター通信（年 4 回）を発行しています。団体がイベント情報や活動報告を発信できる地域ポータルサイト「ひまわりタネット」も運営しています。

場所や機材の提供

情報の閲覧や作業に使えるミーティングスペース、打ち合わせや体験講座などに利用できる会議室があります。資料やちらしを作るための印刷機（有料）・丁合機・紙折り機、その他プロジェクターやパラバルーンなどの貸出機材があります。

● 趣味と学びの連続講座「押し花ワークショップ」

地域から GREEN x EXPO の気運を高めたいと企画。参加者の皆さんはとても熱心で、講座以外で自主的に制作した押し花を作品に活用している様子も見られました。お互いの作品や押し草花の話で会話が弾み、楽しい学びの時間になりました。

開催日	令和7年4月～令和7年6月（全4回）
参加者数	12名
市民の声	「出来上がるとうれしく、もっと色々作品作りたいと思いました。」「押し花が身近になりました。」



「押し花ワークショップ」の作品

● 街のアドバイザー☆1day 体験

『いざ！』という時に役立つ 手軽でおいしい災害食

災害はいつ起こるか分からないため、知識だけではなく、実際にやってみた経験が災害時に役に立ちます。普段の生活の中でポリ袋での調理を試してみたり、乾物や缶詰を上手に取り入れたレシピを取り入れてみることの大切さを学びました。

開催日	令和7年3月4日
参加者数	14名
市民の声	「生活に役立つ知識が身につきました。今日教えていただいた事を早速実践してみたいと思います。」



「手軽でおいしい災害食」の様子

● 活動サポート テレ朝出前講座

「今こそ大切にしたい！コミュニケーションのコツ」

前半はどんな人たちがどんな想いで番組を作っているのかなどテレビ局の舞台裏、後半は大谷翔平選手がWBCのベンチ裏で選手たちを鼓舞した声掛け“PEP トーク”についてのお話を聞きました。参加者の皆さんは、ポジティブな言葉を使ったコミュニケーションの方法にとっても感銘を受けていました。ワークで盛り上がり、近くの人同士での会話も弾んでいました。

開催日	令和7年12月5日
参加者数	45名
市民の声	「PEP TALK というものを初めて知りました。自分を応援することも大切と感じました。」 「会話に困った時の話すスピード、間の取り方、会話に大切なこと、とても参考になりました。」



「テレ朝出前講座」の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自発的な学習活動や仲間づくりを支援し、区民が積極的に地域活動に参加できる環境づくりを推進します。そして、区民が地域活動を通じて感じた課題を行政と協力し、解決していける地域コミュニティの形成を目指します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 地域の担い手はぐくみ事業	
(1) 区民向け	区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。 また、区民が主体的に活動・参加できる環境を目指し、誰でも参加できる定期開催の講座を実施することで参加の裾野を拡げ、企画運営を活動団体と共にすることで、地域活動の担い手育成を図りました。
(2) 施設職員向け	区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を開催しました。
2 市民活動支援事業	市民活動・生涯学習活動の拠点、中間支援組織として市民活動センターアワーズを運営することで、地域で活動する区民や団体間の連携・協働を図りました。
3 こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気がやっこ～	
(1) 国大連携体験学習事業	がやっこ（元気な保土ヶ谷の子どもたち）の健全育成に向け、横浜国立大学と連携し、子ども向け体験学習・講座などを実施しました。
(2) 横浜FC連携スポーツ体験事業	横浜F Cと連携し、区内の子ども向けサッカー体験教室を横浜F Cのグラウンドで実施しました。
(3) 子ども音楽体験事業	神奈川フィルハーモニー管弦楽団と連携し、区内の中学校等において音楽体験（ワークショップ）を実施しました。また、子ども向けのコンサートを開催しました。
(4) ほ도가や☆元気村事業	青少年を地域で育むとともに地域の担い手が活躍するきっかけとして、保土ヶ谷区内の貴重な水田を活用した小学生向け稲作体験をボランティアが主体となって行いました。
4 青少年指導員事業	青少年の健全育成を図るため青少年指導員の活動を支援しました。また、毎年発行している青少年指導員だよりでは、青少年指導員の年間活動を写真中心の記事でお伝えしました。
5 スポーツの街ほ도가や推進事業	
(1) 各種スポーツ大会事業	地域におけるスポーツの普及活動に主体的な役割を果たしているスポーツ推進委員が開催するスポーツ大会について支援を行いました。
(2) スポーツ協会事業	区内のスポーツ団体により組織された区スポーツ協会が行う区民体育の普及や発展、区民相互の交流事業を支援しました。スポーツ協会事務局の自主運営体制強化のための支援を行いました。
(3) プロスポーツ連携事業	区内唯一のプロスポーツチームである横浜F Cとの連携体制を強化しました。
6 スポーツ推進委員事業	地域に根差したスポーツ振興・普及活動が適切に行えるよう、スポーツ推進委員の力量向上や人的ネットワークの形成を図ることを目的に開催しました。
7 ほ도가や芸術の街事業	
(1) 保土ヶ谷区民文化祭事業	区民に身近な場での芸術鑑賞の機会を提供し、また日ごろの活動の成果を発表する場として作品展やイベント等を実施しました。
(2) 区民ギャラリー事業	公募による区内在住・在勤・在学のアマチュア作品を年間を通じて展示しました。
(3) 区民密着型コンサート事業	区民に良質な音楽を提供し気軽に楽しんでいただくことを目的としてオーケストラ団によるコンサートを実施しました。
(4) 区の歌普及事業	区の歌を普及するため、区民まつりや花フェスタ、区民コンサート等のステージで合唱を披露しました。
8 多文化共生まちづくり事業	
(1) 国際理解特別授業	区内の小学校4校でブルガリア理解授業と、給食でのブルガリアメニューの提供を実施しました。
(2) ブルガリア文化区民向けイベント	区内主要イベントでブルガリア民俗音楽の出演やブルガリアブース出展を行いました。

● 地域の担い手はぐくみ事業

地域の担い手となる人材の発掘や社会参画力を育むことを目的として、区民が主体的に活動に取り組める場を、区民自ら企画・運営しました。

区民企画型講座

開催日	令和7年10月～令和7年12月（全4講座）
実施内容	はぐくみ塾修了生が区民対象の連続講座を企画・運営しました。
参加者数	延べ約300人



パーソナルカラー＆骨格診断講座

● プロスポーツ連携事業

保土ケ谷区をホームタウンとして活動している横浜FCとの協定をもとに、地域活性化に資する様々な事業を実施しました。

ほどがや区民DAY

開催日	令和7年5月25日
実施内容	・区内在住・在学・在勤者を招待、優待 ・区内商店街、高齢障害支援課・スポーツセンター ブース出店 ・スタジアム内PR
入場者数	8,779人
実施効果	横浜FCに興味・関心を持ってもらう機会となり、区内のスポーツ振興・普及をすることができました。また、区内商店街の振興にもつながりました。



区役所ブースでの抽選会

● がやっこ育成事業

横浜国立大学と連携して「がやっこ（元気な保土ケ谷の子どもたち）」の健全育成を図るために、様々な体験ができる事業を実施し、「良かった」「また参加したい」の声が全体の9割を超えました。

がやっこ教室

開催日	夏（全16回）、冬（全7回）
実施内容	工作、実験、プログラミング など
参加者数	延べ320人

がやっこ探検隊

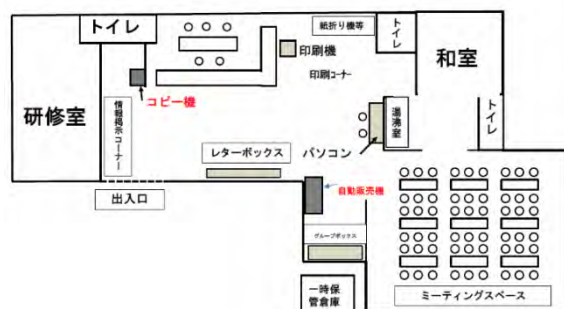
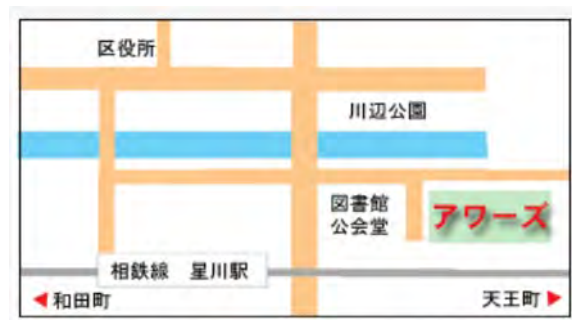
開催日	令和7年6月～令和8年2月（全7回）
実施内容	キャンプ（宿泊）、農業体験 など
参加者数	64人



がやっこ教室「イカの解剖」

ほどがや市民活動センター アワーズ

住 所	保土ヶ谷区星川1-2-1 (令和8年4月移転)
交 通	相鉄線星川駅 徒歩4分
電 話	045-334-6306
F A X	045-339-5120
利用時間	9:00~21:00 (日曜、祝日は17:00まで)
休 館 日	第3月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始



ほどがや市民活動センター「アワーズ」の特徴

ほどがや市民活動センター「アワーズ」は、市民活動・生涯学習が地域に根付き、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現するための施設です。学習相談や情報の受発信、場の提供、各種講座や研修など活動拠点としての支援機能を通じて市民活動・生涯学習を支援します。また、活動団体同士や区民、行政、企業、教育機関など各セクター間をつなぎ、交流、協働、活動を支援します。

目的：市民が仲間と共に活動を通して成長できる、希望と活気にあふれるまちの未来を目指す。

● 人材育成：ほどがやサンプラプロジェクト・大学生実習受入れ 等

多様な世代や立場にある人が気軽に参加できる活動の仕組みをつくり、活動を通して人が出会いつながり、ひとつの企画やイベントを共に作る体験の場を提供しました。

● 活動支援：オンライン活動「はじめ隊！」

活動や暮らしの中でデジタル化が加速する中、オンラインスキルがないために活動参加等を諦めることがないよう、継続的にお互いに学び続けるための学習会を実施しました。

● ネットワーク：協働運営会議・若者活動促進&新たな場づくり事業

誰もが対等に参画し協力し合える活動環境づくりを目指し、登録団体同士の交流促進と、より若い世代が関われるように、若者の活動の場づくりを行いました。

● 通常業務：場の提供・機材貸出し・相談対応・情報提供・ネットワーク参加 等

初めての人が安心して参加できる活動の場をつくと共に、複雑・個別化していく相談者のニーズに応えるため、幅広いネットワークに参加して情報収集に努めました。

施設：ミーティングスペース（定員54名）、研修室（定員12名）、和室（定員15名）

設備：印刷機・コピー機・グループボックス・鍵付きロッカー・レターケース 等

ほどがや市民活動センター アワーズ 令和7年度 主な実施事業

● ほどがやサンタプロジェクト

誰もが気軽に参加できる定期的な清掃活動して「定例おそうじ」を実施。また、「まち歩き！」をサブタイトルに、地域の新しいスポットや活動拠点を紹介するなど、楽しみながら取り組める工夫をしました。また、12月には午前に「おそうじサンタ」、午後に「ひろばサンタ」の2部制で「クリスマス会」を実施。応援隊登録者によるクリスマスソング、カモ隊オリジナル企画のすごろく、デザイナーショーのほか、アワーズ移転後を見据えた国際交流・国際支援活動団体の展示やフェアトレード商品の販売も行いました。

開催日	定例おそうじ 毎月第2・第4土曜日（8月を除く）全20回 10:00～12:00
参加者数	延べ239人



● 協働運営会議

登録団体相互の交流を深めて協働の機運を高めるため、気軽に参加できる「定例茶話会」を毎月10日を開催日として実施（8月を除く）。協働運営会議発案で、移転に関する協議「ホンネの座談会」や見学会を実施しました。

開催日	会議及び定例茶話会： 令和7年4月10日以降毎月10日開催（8月を除く）
参加者数	約120名
参加団体	17団体（施設登録団体有志）

● 地域の防犯と市民活動

地域課題と市民活動の接点を探るため、「防災」をテーマとした講座を通じて、市民活動や生涯学習の立場から地域防災に関わる可能性を考えました。

開催日	連続2回講座
参加者数	第1回：10月13日（講師：廣瀬隆人氏）、 第2回：10月17日（講師：鷺山龍太郎氏） 延べ25名



● 市民が語る地域の歴史の共有

一般的なあまり知られていないような、市民の言葉で語られる歴史を参加者と共有して気づきを促すことで、暮らしているまちへの関心を高めました。

開催日	第1回：8月5日「星川と常盤台のむかしの話あれこれ」麻生民次氏（保土ヶ谷ガイドの会） 第2回：8月25日「東海道という財産を持つ保土ヶ谷の話」近藤博昭氏
参加者数	延べ11名

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

働き方や余暇時間の過ごし方、価値観の多様化、少子高齢化など社会環境が変化し、人生100年時代を迎える中、リスクリング・生涯学習に対する市民ニーズが高まっています。旭区では、区民の身近な場所での生涯学習・スポーツ、文化芸術・読書推進活動、学習グループの相互交流等、地域での多様な活動を支援し、市民が心豊かに地域での暮らしを楽しむための環境づくりに取り組みます。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動支援センター活動事業	
(1) 市民活動支援センター事業	市民活動・生涯学習に係る相談対応や機材の貸出し、ミーティングコーナーや研修室等の提供を通して、市民活動の支援を行いました。また、社会参加のきっかけとなる夜間講座を毎月開催しました。
(2) 旭区地域人材バンク事業	旭区地域人材バンク登録者（旭区地域のアドバイザー）に、講師としての活動の場を提供し、区民の生涯学習及び地域活動の活性化を図りました。
2 青少年健全育成事業	
(1) こども写生大会	よこはま動物園ズーラシアを会場に、自然とのふれあい・文化的実践活動を通じて子どもの創造力を養うことを目的として開催しました。
(2) 親子野外自然体験活動	自然の中で様々な体験や人々との交流を通じて、思いやりや協調性、また地域への愛着心を育むことを目的として開催しました。
(3) 青少年指導員事業	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員連絡協議会を事務局として支援し、全指導員対象の研修を行いました。
(4) こども未来発見事業	青少年の興味・関心の幅を広げるため、小学生向けの科学実験教室や中学生向けの絵画制作ワークショップを開催しました。
3 スポーツ振興事業	
(1) 旭区民スポーツ祭	旭区の連合地区対抗の総合スポーツ大会を開催しました。
(2) 旭ズーラシア駅伝	よこはま動物園ズーラシアを会場とし、駅伝大会を開催しました。
(3) 旭区スポーツ協会支援事業	各種区民大会や、区内のスポーツ振興事業を実施する旭区スポーツ協会に対して補助金を交付するなどの支援を行いました。
(4) スポーツ推進委員事業	地域及び横浜市のスポーツレクリエーション振興を図ることを目的とするスポーツ推進委員連絡協議会を事務局として支援しました。
(5) 大なわとび大会	青少年指導員と子ども会の役員からなる実行委員会を支援し、旭区の連合地区対抗で大なわとび大会を開催しました。
4 文化振興事業	
(1) 文化芸術活動支援事業	公募と審査を経た26団体に対して補助金交付や広報支援等を行いました。
(2) 横浜旭ジャズまつり事業	横浜旭ジャズまつりを開催し、実行委員会への補助や企画・運営支援等を行いました。
(3) 旭区文化振興会事業	地域の文化芸術振興を図ることを目的とする旭区文化振興会を事務局として支援しました。
5 旭区の「農」の魅力PR事業	旭区の豊かな「農」及び地産地消をPRするため、「あさひ直売所&地産地消マップ」の配布や農産物直売イベント等を実施しました。
6 あさひ魅力発見事業	旭区のマスコットキャラクター「あさひくん」を活用し、区政に絡めた4コマ漫画やあさひくんAR、着ぐるみの貸出しなど、各種情報の発信や、区民の郷土愛の醸成を図りました。

● こども写生大会

5歳から12歳までの子どもたちを対象とし、こども写生大会をよこはま動物園ズーラシアで開催しました。自然や動物とのふれあいを通じて、子どもの創造力を養いました。

開催日 令和6年6月22日

参加者数 300人（こども161名、大人139名）



こども写生大会の様子

● 旭ズーラシア駅伝（旭区駅伝競走大会）

ズーラシア内部の一般園路と管理用道路を使用した特設コースを周回、5区間でタスキをつなぎ、競いました。

開催日 令和8年1月24日

参加者数 約1,500人



旭ズーラシア駅伝（旭区駅伝競走大会）の様子

● 横浜旭ジャズまつり

野外コンサート「横浜旭ジャズまつり」は、市民ボランティアにより運営される、市内最大級の野外ジャズイベントです。こども自然公園の野球場を会場に、個性豊かなアマチュアステージから、ジャズ界の巨匠が登場するプロステージまで、本格的な生演奏と臨場感あふれるセッションで、子どもから大人までがジャズの魅力を楽しむことができます。

開催日 令和7年8月31日

参加者数 約2,500人



横浜旭ジャズまつりの様子

● あさひわくわく科学ラボ

「あさひわくわく科学ラボ」は、夏休みの自由研究に活用可能な、小学生を対象とした科学教室です。1～3年生向けでは親子で楽しめる簡単な工作、4～6年生向けではレモンや食塩水で電池を作る実験を行い、子どもたちが科学的な仕組みについて楽しみながら学びました。

開催日 令和7年8月14日

参加者数 1～3年生：10組20人、4～6年生：10人



あさひわくわく科学ラボの様子

旭区市民活動支援センター みなくる

住所 旭区鶴ヶ峰 2-82-1 ココロット鶴ヶ峰 4階

交通 相鉄線鶴ヶ峰駅 徒歩約2分

電話 | 045-382-1000

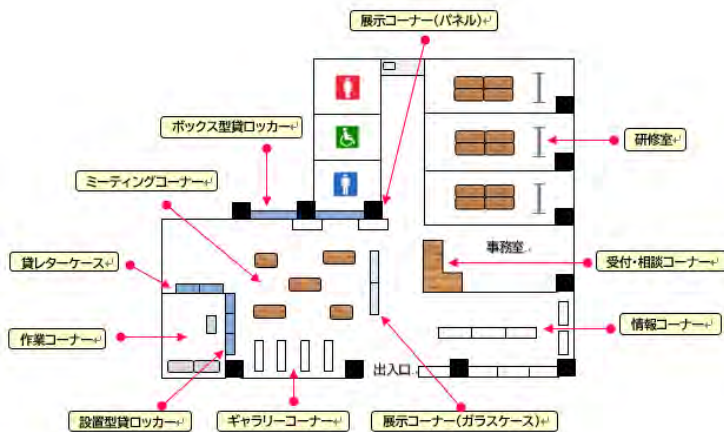
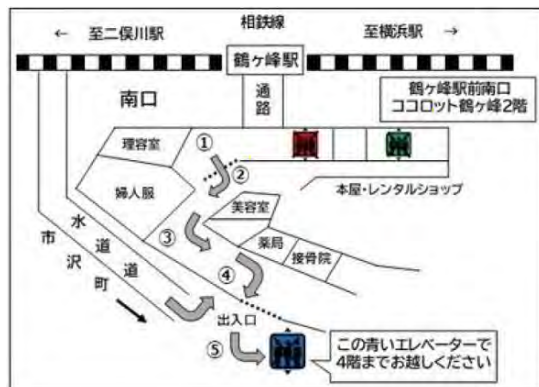
F A X | 045-382-1005

利用時間 | 月 水 木 金 9 : 00 ~ 17 : 00

火 9 : 00 ~ 20 : 30

土 日 祝 10：00～16：30

休館日 毎月第1、第3水曜・年末年始・施設点検日



旭区市民活動支援センター「みなくる」の特長

旭区市民活動支援センター「みなくる」は、市民活動が盛んな地域性に応え、駅直結という好立地を生かした活動拠点としての役割を果たすとともに、高齢化が進む中、新たな地域の担い手発掘にも取り組んでいきます。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

市民活動や生涯学習の情報を集め、相談者へ情報提供や相談等の支援を行っています。

情報発信

広報誌『みなくるだより』では、イベントの案内や、登録団体・アドバイザーの活動、旭区で活躍する地域人材、旭区内の施設などの紹介をしています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する「旭区地域のアドバイザー」の登録、紹介（コーディネート）を行っています。

場の提供・機材の貸出

研修室（定員 15 名）3 室、ミーティングコーナーで会議や打合せができます。

●社会参加や地域活動のきっかけづくり夜間講座 「まちの楽校」

社会参加や地域活動のきっかけづくりを目的として、学びや趣味に関するテーマで、日中は忙しい働き世代も参加しやすい夜間での講座を実施。参加者同士が交流する場となるよう、毎月開催しました。

開催日	令和7年4月～令和8年3月 毎月第4火曜日 18:30～20:00
参加者数	延べ151人
市民の声	「テーマに基づいてこのような講座があるというのは面白いと思った。」「先生のお話を聞くだけではなく、参加者の話も聞くのは良いと思った。」



「まちの楽校」の様子

●地域活動支援講座 「つなげよう！地域のチカラ見本市」

登録団体および地域のアドバイザーが区内で活躍の場が広がるよう、自治会町内会や区民利用施設担当者に知ってもらう機会を提供しました。

開催日	令和8年2月24日
参加者数	出展者：23団体 来場者：114人
市民の声	「レクリエーションの参考になりました。」「出展分野のバリエーションが多く、幅広く区民活動が他施設につながるができる場だと感じました。」「活動する仲間を探すための出会いの機会を増やしていきたい。」「他の団体の活動を知ることができて、交流会として有意義だった。」「アドバイザーの存在を知らない方が多くいるので活動を広める良い機会でした。」



「見本市」当日の様子

●施設間連携事業 区民利用施設職員連絡会・研修会

区内34施設を対象に、職員同士の情報共有の促進や連携のきっかけづくりを目的とした、連絡会・研修会を実施しました。

開催日	令和7年8月6日、12月3日
参加者数	延べ35人
講師名	原島 隆行（NPO法人 まち×学生プロジェクト plus 常務理事） 松園 智美（認定NPO法人 森ノオト）

参加者の声	「隣にあってもなかなか会う機会のない施設と話しが出来たので、今後も関係性を築いて行きたい。」「同じ悩みを持っているのがわかり、お互いに解決策を共有できそう。」「グループワークで他施設のチラシ作りの問題点など聞き、参考になりました。」
-------	--



第1回の様子



第2回の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動等を通じ、地域活動等がより活性化するための環境づくりを進めます。また、区民に対し多様な学びを通じた地域活動の機会を提供して、学んだ知識・技能・経験を発表する場や、個人・地域活動団体が交流できる場をつくっていきます。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 「区民のちから」発揮・活用事業	区民が新たに地域活動に参加する機会を設けるとともに、活動中の団体への支援や、団体・区民・施設間の交流を深め、「区民のちから」が発揮されるように支援しました。 また、区民活動支援センターの事業として、いそご地域活動フェス、スキルアップ講座、交流会、館長連絡等を実施し、地域活動を支援しました。
2 多文化共生推進事業	庁舎内各窓口における環境整備として、テレビ電話通訳タブレットやAI通訳機（ポケトーク）を区役所窓口等で運用しました。いそご多文化共生ラウンジを拠点として、ラウンジでの対応に加え、地域に出向いて、自治会町内会や学校と連携し、地域課題の解決に向けた取組や多文化共生の推進を図りました。また、日本語教室支援事業として、新規ボランティアを養成するための講座や既に活動されている方のためのブラッシュアップ講座を実施しました。
3 地域文化活性化事業	
(1) 区民文化活動への支援	区庁舎1階「磯子区民ホールギャラリー」において、区内グループによる作品展示を行いました。
(2) 地域文化振興事業への補助	磯子区文化協会の各々が、いそご芸術文化祭として幅広く区民対象に実施する事業に対し、補助を行いました。
(3) 読書活動推進事業	子どもから大人まで幅広い層に合わせた読書活動を推進するため、講演会等を実施しました。
4 区民スポーツ振興	
(1) スポーツ推進委員支援事業	市から委嘱されたスポーツ推進委員で組織する磯子区スポーツ推進委員連絡協議会の活動を支援しました。
(2) 区民スポーツ振興事業	区内スポーツ振興団体が開催する大会や初心者向け教室等の事業に対し、補助を行いました。
5 青少年育成推進	
(1) 青少年育成活動助成事業	青少年の健全育成を目的とし、体験活動の場又は学習活動の場を提供する事業に対して、支援を行いました。
(2) 学校・家庭・地域連携支援事業	区内で青少年育成協議会が行うパトロールなどの青少年の問題行動防止活動に対して、補助を行いました。 また、青少年の健全育成のための取組（学習会、講演会）に対して、補助を行いました。
(3) 青少年指導員協議会事業	青少年の自主的活動とその育成組織活動等、青少年の健全育成のために青少年指導員協議会が区内で行う活動に対して、補助を行いました。
(4) 青少年の地域活動拠点づくり事業	中高生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場の運営を支援しました。

● いそご日本語ボランティア入門講座

磯子区の多文化共生や外国の方とのコミュニケーションについて理解を深め、日本語学習支援や日本語学習についての基礎を学べる講座を実施しました。外国の方への日本語学習支援に興味があり、これから磯子区内の日本語教室で活動してみたいと考えている多くの皆さまにご参加いただきました。



講座の様子

開催日	令和8年2月9日、16日、3月2日
参加者数	88人（全3回の延べ人数）
講師名	渋谷 実希（立教大学日本語教育センター教育講師 他）
市民の声	「日本語を通して、多文化の人達、日本人の人達と、心を開き、話をしたいと思いました。」

● 読書活動推進講演会

第三次磯子区読書活動推進目標に基づき、読書に親しみ楽しむ機会として、講演会を実施しました。令和7年度は「絵本の世界を旅しよう！～作家と声優といっしょに～」をテーマに、読み聞かせの実践や、普段聞くことのできない絵本の制作秘話等を通じて、親子で読書に親しむきっかけづくりとなりました。



令和7年度
講演会のチラシ

開催日	令和8年2月7日
参加者数	117人
講師名	市原淳（絵本作家・イラストレーター）、かかずゆみ（声優・絵本作家）
市民の声	「読み聞かせの口調を学べただけでなく、絵本作りの工夫や苦労を知ることができました。」「親子で楽しませていただきました。」

● 磯子七福神めぐり

初詣として岡村天満宮を含め8か所を一巡りするコースを設定し、磯子区役所・根岸坂下公園・真照寺・岡村中学校・岡村西部自治会館の5か所から午前9時頃出発し、半日かけて巡りました。磯子区青少年指導員協議会が主催するこの行事で磯子の歴史に触れながら、地域への理解と親しみを深めることができました。

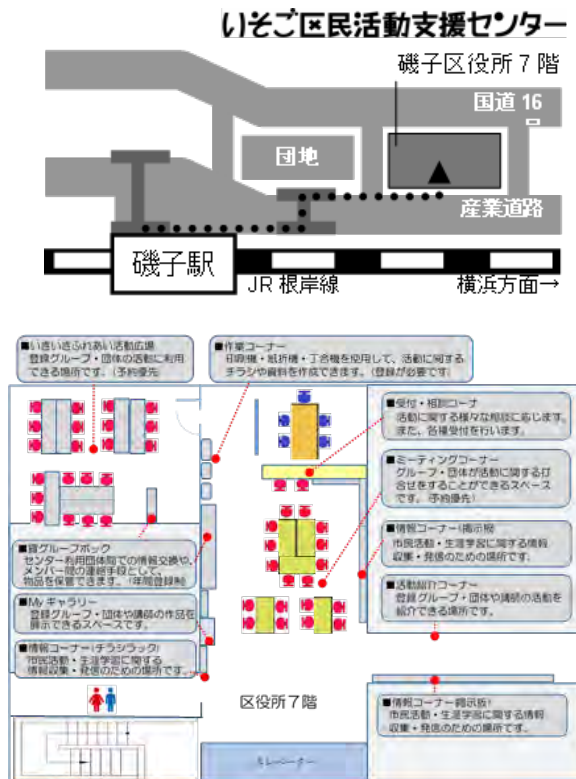


事業の様子

開催日	令和8年1月4日
参加者数	259人

いそご区民活動支援センター

住 所	礪子区礪子 3 - 5 - 1	礪子区役所 7 階
交 通	JR 礪子駅 徒歩 5 分	
電 話	045 - 754 - 2390	
F A X	045 - 759 - 4116	
利用時間	10 : 00 ~ 17 : 00	
休 館 日	祝日・年末年始	



いそご区民活動支援センターの紹介

いそご区民活動支援センターでは、区内で活動している方＆これから活動を始めの方を支援しています。

- 市民活動・生涯学習等に関する相談
- 地域ボランティア講師、グループ・団体登録、情報提供
- 機材の貸出し（印刷機、プロジェクター、マイク 等）
- スペースの貸出し
- 講座、地域活動フェスの開催 等

情報誌『いそつな』の発行（隔月）

いそご区民活動支援センターの活動内容や、グループ・団体の活動情報、区内各施設のイベント情報などを掲載した情報紙『いそつな』を隔月発行しています。



● スキルアップ講座

「呼吸法・発声法を学び日頃の活動力アップ！」

呼吸法と発声法を学び、声を与える印象を改善することで、相手により伝わるコミュニケーション方法を学ぶ講座を開催しました。

開催日	令和7年7月2日
参加者数	16人
講師名	中村 厚
市民の声	「自分の声に自信がありませんでしたが、訓練をすることで大きな声が出るようになると分かり、本当に良かったです。」

「話題のCanvaでワクワクを届けるチラシづくり」

無料デザインツールを活用し、チラシの作成を通じて地域活動や自治会町内会が情報発信を高める講座を開催しました。

開催日	令和8年2月18日、14日
参加者数	20人
講師名	小川 裕子
市民の声	「説明が丁寧で分かりやすかったです。」



講座の様子

● 地域活動フェス

いそご区民活動支援センターに登録されている地域ボランティア講師、グループ・団体の活動を地域の皆様に紹介するイベントを開催しました。

開催日	体験ブース、作品展示等：令和8年12月13日 パネル展：令和8年12月11日～12月14日
参加者数	約300人
協力	磯子区 NPO 連絡会
市民の声	「誰でも楽しめるフェスで、参加者の年齢層が広がって良かったです。」



パネル展の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

金沢区民活動センターを核として、区民のニーズに応じた多様な活動支援を行うとともに、区民の自発的な活動を応援し、地域が育つ土壌づくりを行います。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 区民活動センター運営	生涯学習・市民活動情報の提供・相談等を通じて、区民の自主的な活動の支援を行いました。 また、地域で活動するためのきっかけづくりや活動者相互の交流促進、活動者の支援を目的としたイベントを行いました。
(2) 金沢区つながりステーション	コミュニティサロンの相互交流及び情報交換、並びに運営に係る知識及び経験の伝播などにより、区内の地域交流拠点の普及及び活性化を目的として9団体11拠点のコミュニティサロンと協働で活動しました。
2 多文化共生事業	
(1) 金沢国際交流ラウンジ運営委託	外国につながる区民への支援や日本語教室、交流事業等を通じて、多文化共生の推進を図りました。
3 青少年健全育成事業	
(1) 青少年指導員協議会	青少年指導員が各地区で行うイベントや小学生を対象とした参加者同士の仲を深めるレクリエーションイベント「ジュニアサマー金沢」の実施などを支援しました。
4 地域文化振興事業	
(1) 区民文化祭	区民の方へ文化活動発表の場・芸術鑑賞の場を提供することにより、文化活動の活性化を図りました。
(2) 文化振興事業	金沢区にゆかりのある能楽に触れる機会として、能の公演及び小学生を対象に能講座を実施しました。また、素晴らしい音楽に触れることを目的に、区民から寄贈されたピアノを活用した室内楽コンサートを開催しました。
5 かなざわ歴史ふれあい事業	
(1) 「むかし体験授業」（訪問歴史授業及び資料館歴史授業）	区内の小学生を対象に、江戸時代から昭和期まで、実際に金沢区の人々のくらしの中で使われてきた生活道具などの民俗資料の実物に触れ、使い方を知ってもらうことを通じて、地域の歴史や文化についての学習を支援しました。
(2) 文化伝承	区内の小学生を対象に、金沢の地で古くから行われている「塩づくり」及び「海苔づくり」を体験する教室を実施しました。地域の文化や歴史に触れる機会となりました。
6 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員連絡協議会	スポーツ推進委員が開催するソフトボール、バレーボール、グラウンド・ゴルフ大会や各地区でのイベントなどを支援しました。
(2) 区内スポーツ振興	区スポーツ協会が開催する競技会やスポーツフェスティバルの開催を支援しました。また、ロードレース大会・小学生駅伝大会の開催を支援しました。

● ハマの JACK 室内楽コンサート

区役所隣接の金沢公会堂には、金沢区制 70 周年を記念して区民から寄贈されたグランドピアノがあります。このピアノを活用し、区民が身近に音楽に親しむことや、素晴らしい音楽に触れることを目的としたコンサートを、対象年齢別に 2 部制（第 1 部：子ども向け／第 2 部：一般向け）で実施しました。

演奏者によるわかりやすい曲の解説もあり、音楽ファンだけでなく、日頃、音楽に触れる機会の少ない方からも大好評でした。

開催日 令和7年12月14日

参加者数 864 人

市民の声 「子どもが最後まで飽きずに集中して鑑賞できた」「映像や体験要素があり、親しみやすかった」（小学生の保護者）
「楽しさと涙がでるほどの感動が同時にあった」「身近な公会堂で素敵な音楽に触れることができた」（大人）



上：コンサートのチラシ
下：コンサート第2部の様子

● 海水からの塩づくり体験・海苔づくり教室

区内の小学生が金沢区の歴史に興味を持ち、地域に対する愛着を深めることを目的として、海水からの塩づくり体験・海苔づくり教室を実施しました。当日は、スタッフの説明を聞きながら熱心に作業する姿が見られました。

開催日 令和7年9月28日（海水からの塩づくり体験）・令和8年2月15日（海苔づくり教室）

参加者数 40 人（海水からの塩づくり体験）・39 人（海苔づくり教室）

市民の声 「初めてやったことが多かった。自分でできて良かった」「塩づくりが大変なのがあった」



● 金沢区第53回ロードレース大会・第32回小学生駅伝大会

区内小・中学生をはじめとする区民の参加による「区民の大会」として地域のつながりを築き、次の世代に伝承していくことを目的とし、開催しました。多世代が参加することができる歴史ある大会として、参加者から好評を得ています。

開催日 令和8年2月21日

参加者数 986 人（うち小・中学生 651 名）

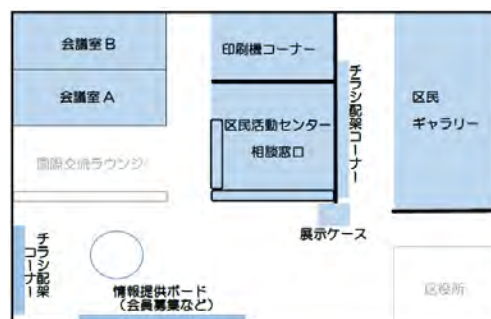
市民の声 「子どもがタイムが上がっていくのが楽しいようで、来年も出たいと言っている。」
「毎年子どもと参加しています。私は普段運動をあまりしないので、マラソン大会に出る事は事前の練習も含め運動する良いきっかけになっています。」



レースの様子

金沢区民活動センター ゆめかもん

住 所	金沢区泥亀 2 - 9 - 1 金沢区役所 2 階
交 通	京浜急行 金沢文庫駅 徒歩 11分 京浜急行・シーサイドライン 金沢八景駅 徒歩 13分
電 話	045 - 788 - 7803
F A X	045 - 789 - 2147
利用時間	8 : 45 ~ 17 : 00
休 館 日	第 1 日曜、年末年始・祝日 (祝日が土、日曜日と重なる場合は除く)



センターの特長

金沢区は、歴史的遺産、近代的施設などに恵まれた多様性に富む地域です。また、海と山、それを結ぶ川と自然環境にも恵まれています。

歴史ある古い土地柄であることから、区民活動センターには歴史や自然に関する活動団体の登録が多くあり、利用者は比較的中高年齢者が多くみられます。センターとしてはその活動支援とともに、若い世代に向けたイベントや講座も実施し、幅広い世代の利用と支援を目指して事業を行っています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- 生涯学習・市民活動に関する情報提供や、地域で活動する団体及び様々な特技や技能を持つ個人の登録制度（登録団体・金沢区「街の先生」）を活用したコーディネートを行っています。

機材の貸出・場の提供

- 登録者・登録団体へ会議室（定員 22 名）や印刷機・プロジェクターなど、設備・機材の貸出を行っています。
- 区民ギャラリー・展示ケースでは、作品等を展示することができます。

情報発信

- 情報紙「ゆめかもんニュース」では、自主企画事業の情報発信、登録団体の事業紹介や会員募集など、生涯学習・市民活動に関する情報を隔月で発信しています。
- 広報よこはま金沢区版は、区民ギャラリーや自主企画事業の情報を発信しています。

● 見にきて身になる！ミニ体験講座

登録団体・「街の先生」が自ら講座を組み立て、全24講座を実施しました。講座実施が初めてでも、会場提供施設や区民活動センタースタッフのサポートのもと、講座を“ミニ体験”し、活動の幅を広げることができました。会場提供をしてくださった区民利用施設にとっては新たなジャンルの自主企画事業につながり、区民にとっても市民活動・生涯学習活動を始めるきっかけとなるなど、様々な“ミニ体験”を生み出すきっかけとなっています。

また、この講座をきっかけに新しいサークルができたり、施設で新しい講座ができたりと次の展開にも繋がりました。

開催日	令和7年9月6日～9月29日
参加者数	講師：「街の先生」18人、登録団体6団体 会場提供区民利用施設：13施設 受講者数：186人
講座実施者の声	「やってみたいと思っている方がたくさんいることがわかった」「講座を通して、素敵な縁に巡り合うことができた」「終了後も質問が多く、関心の高さがうかがえた」



見にきて身になる！ミニ体験講座の様子

● 金沢区生涯学習交流会「フォーラム KANAZAWA」

登録団体・「街の先生」の参加希望者で実行委員会を結成し、自分たちで企画・運営・実行する交流会で、区民にも活動を知ってもらうため、金沢区役所・公会堂を会場に毎年秋に実施しています。

それぞれの団体や「街の先生」が、活動紹介パネルの展示・説明や体験会の実施、演技披露等で活動を紹介しています。会場の5か所にスタンプを置いたスタンプラリーも実施し、楽しみながら全会場に足を運んでいただくことができました。区民ギャラリーを子どもの遊び場としてセッティングし、来場した親子がのびのびと楽しむ姿も多々見られました。

開催日	令和7年11月2日 10時～15時 当日の他に 運営委員会6回 実行委員会5回
参加数	登録団体12 「街の先生」10名 来場者 300名 ・参加者全員が実行委員 ・実行委員の内約15名運営委員
その他	チラシ 10,000部配布



「フォーラム KANAZAWA」の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の幅広い学習ニーズに応じた生涯学習や青少年育成、スポーツや文化・芸術等の事業を、区民と協働して実施することにより、区民が楽しみながら学び、地域に親しむ機会や交流する場を提供し、区民の自立的・自発的な学習活動を支援します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 区民活動支援センター事業	区民活動相談・学習相談・情報提供・機材の貸出など区民の自主的な学習活動を支援しました。
(2) 市民グループ・団体支援事業	グループ・施設とのコーディネートを行い「つながるカフェ」「施設間連携会議」を開催しました。団体の活動支援として「ICT講座」、若年層をターゲットに新たな担い手・活動の創出につなげる「港北地域学」を開催しました。
(3) 区民活動支援センター情報誌「楽遊学」の発行	団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌を年6回発行しました。（区ホームページに掲載）
2 読書活動推進事業	
(1) 本とであおう事業	小学生対象の紙芝居制作講座を開催しました。「秋のヨコアrikunまつり」で各種図書展示や紙芝居制作講座参加者・区内活動団体による紙芝居上演などを実施しました。ブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」を戸籍課窓口や乳幼児健診会場にて配布しました。
(2) 読書情報発信事業	日吉図書取次所「日吉の本だな」で企画展示や図書館出張相談会、区民活動支援センター「まちの先生」を活用した読み聞かせやイベント、出張相談会等を実施しました。区内図書施設・蔵書情報を集約し、区ウェブサイト等で発信しました。
(3) 読書団体連携事業	読書活動推進関係機関連絡会（小・中学校、保育園、地区センター等）を開催し、取組の共有等を行うとともに、読み聞かせ団体等の交流会を実施しました。また、読書活動推進月間中に区内公共施設等で開催の関連行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました。
(4) 第三次港北区読書活動推進目標策定事業	第三次横浜市民読書活動推進計画の策定を受け、区民の皆様のご意見を踏まえながら、第三次港北区読書活動推進目標を策定しました。
3 青少年活動支援事業	
(1) 紙ヒコーキ大会	手作り紙ヒコーキの作り方・飛ばし方を教えながら子どもの創造性を育み、地区の垣根を超え、参加した子どもたちの輪を広げることで青少年の健全育成を図りました。
(2) 青少年指導員事業	夜間パトロールや啓発キャンペーン等を通して社会環境の健全化を図りました。
4 地域スポーツ推進事業	
(1) スポーツ活動団体への補助事業	区内のスポーツ活動団体を支援し、地域スポーツの振興を図りました。
(2) 港北駅伝大会実行委員会への補助事業	港北駅伝大会実行委員会を支援し、地域における世代間交流の促進、中高生の体育の向上、地域スポーツの振興を図りました。
(3) 大学とのスポーツ連携事業	慶應義塾大学と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施しました。
(4) スポーツ・リソース活用事業	区内のスポーツ資源を活用したイベントとして、スケートボード体験会を実施しました。
(5) スポーツ・クリーンアップ事業	環境への関心が高まる中、環境と健康増進を融合化させた取組として、プロギング（歩いたり走ったりしながらのごみ拾い）イベントを実施しました。
(4) スポーツ推進委員事業	地域でのグラウンドゴルフ大会やペタンク大会等、スポーツ活動を支援しました。
5 芸術文化振興事業（港北芸術祭）	
(1) 鑑賞型事業	区民に身近な場所で良質な芸術文化に接する機会を提供するため、バラライカオーケストラによるコンサートと、ラテンバンドによるコンサートの演目の有料公演を実施しました。
(2) 参加型事業	区民が日頃の活動の成果を披露する場として、港北三曲会演奏会や港北美術展を、また区民の体験の場として箏や尺八、書道、オーケストラの体験教室等を開催しました。
(3) 文化団体の支援	文化団体に共催・後援・広報協力等の支援をしました。
6 港北国際交流ラウンジ運営委託	外国人への相談対応や情報提供を行うとともに、通訳ボランティア派遣や日本語教室、外国人と日本人の交流の場の提供、広報紙の発行などを実施しました。またラウンジの一大イベントである「ワクワクまつり」の開催等を通じて、区民の国際理解の促進に取り組みました。
7 わがまち港北映像ライブラリ事業	市民協働事業により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、区の歴史や見どころなどの映像をウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信しました。

● 芸術文化振興事業（港北芸術祭） 参加型事業

区民が日頃の活動の成果を披露する場として、港北三曲会演奏会や港北美術展を、また区民の体験の場として箏や尺八、書道、オーケストラの体験教室等を開催しました。

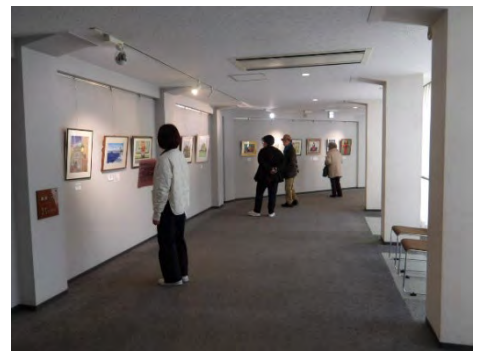
夏の親子コンサート

開催日	令和7年8月31日
来場者数	391人
内容	港北区民交響楽団によるコンサート
市民の声	「素敵な演奏で良かったです」 「子どもがオーケストラに興味を持てる仕掛けが良かったです。」



港北美術展

開催日	令和8年2月25日～3月1日
出品数	171作品
内容	港北区民や区内在住、在学、在勤者等を対象とした美術展
市民の声	「子どもから大人までたくさんの作品が見れて楽しかったです」 「色々な工夫がされていて、楽しく見させていただきました」



● スポーツ・リソース活用事業

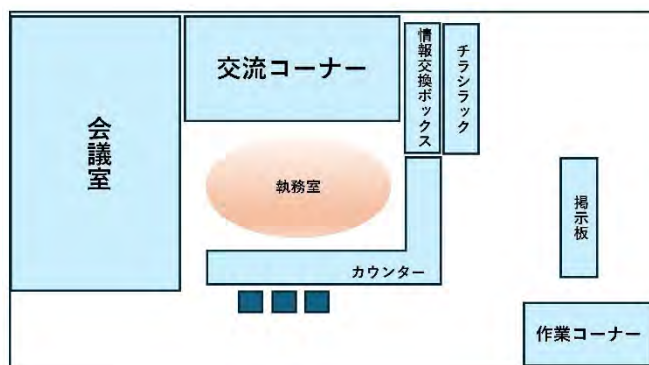
港北区に存する多くのスポーツ資源を活用したイベントの開催により、区民の皆様に身近なスポーツ施設やプロスポーツ団体等の資源を広く認識していただくことを目的として、令和7年度より事業を開始しました。開始初年度は、新横浜公園を活用した小学生向けスケートボード体験会を2回開催しました。

	第1回	第2回
開催日	令和7年10月4日	令和7年12月6日
参加者数	35名	50名
内容	各回とも事前申込制で1コマ1時間の体験会を6コマ開催。プロスケートボーダーの土田ミレイさんなどを講師として初心者レクチャーを行った。	
市民の声	「初めて触れる競技をプロからのレッスンで学べて大満足だった。」 「新横浜公園は近所なので、これをきっかけに練習して上達していきたい。」	



港北区区民活動支援センター

住 所	港北区大豆戸町 26-1 港北区役所 4 階
交 通	東急東横線大倉山駅 徒歩 7 分
電 話	045-540-2246
F A X	045-540-2246
利用時間	8:45~17:00
休 館 日	土日・祝日・年末年始



何かを始めたい、団体活動を活性化させたい等の相談

市民活動、生涯学習、ボランティア、グループ・団体活動に必要な情報の提供や相談、人と人、地域とのつながりづくりのコーディネートを行います。

活動の場（会議室・交流コーナー）や印刷機、紙折り機等の作業コーナーの提供

グループの打合せや会議にご利用いただける会議室や交流コーナーを活動の場として提供しています。活動に必要な物品の保管に利用できる情報交換ボックス、印刷機、紙折り機のある作業コーナーも設置しています。

「まちの先生」の登録と紹介

専門知識や特技を活かすボランティアを港北区「まちの先生」として登録していただき（令和7年度登録数：130 講座）、地域活動やサークル活動の講師としてご紹介。共に学び合う環境づくりをサポートしています。

機材・布おもちゃ・港北昔ばなし紙芝居の無料貸出

グループ・団体活動に必要な物品を貸出しています。

活動をつなぐ情報誌『楽遊学』の発行

区内の「活動」をつなぐ情報誌『楽遊学』を隔月で発行。地域で活動する団体の紹介や、わがまち港北スポット（区民利用施設）、区民活動支援センターからのお知らせなどを掲載しています。

発行頻度：年 6 回 発行部数：1,900部

配布先：区役所、区民利用施設、区内コミュニティカフェ、鉄道駅、区内市立小中学校ほか



港北区区民活動支援センター 令和7年度 主な実施事業

●港北地域学

港北区のことを多角的に学び、自分やみんなでできることを一緒に見つけていく講座です。

第1回「外国人住民の声から学ぶ港北の今」

開催日	令和7年11月22日
参加者数	22人
講師名	港北国際交流ラウンジ スタッフ、ボランティア
市民の声	「ボランティアを考えるきっかけになりました」



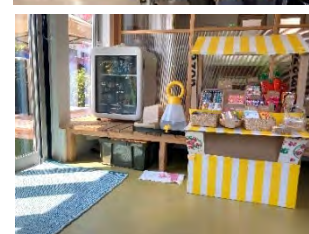
第2回「まちと生きる本屋のカタチ」

開催日	令和8年1月25日
参加者数	32人
講師名	中岡 祐介氏（石堂書店代表代行、株式会社三輪舎代表）
市民の声	「街を見る視点が増え、まずは周りを見渡したい」



第3回「人がつながる地域の居場所づくり」

開催日	令和8年2月7日
参加者数	12人
講師名	大森 文彦氏（konchi.wa 運営）
市民の声	「今回のつながり、出会いを大事にしたい」



第4回「新横浜発！まちの魅力の高め方」

開催日	令和8年3月28日
参加者数	15人
講師名	新横浜ストリートマネジメント委員会
市民の声	「地域活動と市民団体の相互協力の方法が見つかりそう」



●つながるカフェ

1回目「多世代に活動の思いを伝えるコツ」、2回目「いまどきの若者とつながるコツ」をテーマにアドバイザーを招き交流会を実施しました。

開催日	1回目 令和8年2月14日 / 2回目 令和8年3月14日
参加者数	1回目 47人 / 2回目 13人
講師名	1回目 入田 直子氏 / 2回目 大久保 智弘氏
市民の声	「すぐに実践できる事柄が多くあり活動に役立ちます」



●活動する人のための ICT 講座（公式 LINE 入門講座）

活動団体や自治会町内会の活動における情報伝達・共有・連携の向上を目的に、公式LINEを学ぶ講座を開催しました。

開催日	令和8年1月24日 / 1月27日
参加者数	1回目 9人 / 2回目 17人
講師名	山口 良介氏（まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.）
市民の声	「似た属性の団体と交流できたことで情報交換ができた」



【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民が主役となって行う、スポーツ振興、青少年健全育成、芸術・文化分野の活動を支援します。また、市民活動パワーアップ支援事業では、生涯学習や市民活動団体の代表者からなる「緑区市民活動支援センター運営委員会」の専門部会とみどりーむネクストが中心となり、生涯学習や地域活動への参加のきっかけとなる講座などを企画・実施しています。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動パワーアップ支援事業	
(1) 生涯学級事業	市民が5回程度の連続講座などを企画・運営することにより、グループ活動のノウハウを学んだり地域で仲間づくりを進めたりする事業を実施しました。
(2) 生涯学習人材バンク事業	まちのボランティア講師「ちょっと先生」の登録・紹介、地域イベントでの人的コーディネート等の支援を行いました。
(3) 市民活動交流事業	地域で行われている公益的活動を周知し、地域活動の担い手を増やすために、活動発表や意見交換の場として「みどりーむまつり」、「みどり市民活動交流会」などで交流を促進しました。オンラインを併用して「Open!みどりーむ」を開催しました。
(4) 区民との協働によるIT普及事業	ボランティア団体との協働によりIT講習会の実施及びパソコン常設相談コーナーの運営を行いました。
2 青少年地域サポート事業	
(1) 緑区青少年活動事業	緑区の青少年健全育成にかかわる活動を支援・促進することを目的として対象団体に補助金を交付しました。また、東京科学大学と連携して小・中学生向け科学実験教室を実施しました。さらに区主催のイベントとして、青少年向け自然体験講座「トンボ先生と学ぼう！夏休みわくわく昆虫観察会」と青少年親子体験講座「おやこスマホ写真教室」を実施しました。
(2) 青少年指導員事業	青少年指導員の活動を支援しました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ振興事業	地域のスポーツ団体が協力して実施するランニング大会や、区民がトップアスリートを身近に感じる機会としてプロスポーツ観戦事業を実施しました。
(2) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員の活動を支援しました。
(3) スポーツ協会への補助事業	加盟している種目別14競技団体等の支援を通して、スポーツ振興を図りました。
(4) みどりスポーツフェスティバル2025	地域のスポーツ団体が協力し、世代を問わず気軽に参加できるスポーツの体験イベントを開催しました。
4 緑・芸術文化事業	
(1) 緑・芸術文化活動支援事業	緑・芸術文化活動支援事業の対象となるイベントを募集し、事業のPRや経費の一部助成等の支援を行いました。
(2) 交流と人材育成事業	庁舎を活用した文化振興として、文化サークルによる展覧会「サークルミニギャラリー」や発表・交流の機会を提供する「提案型ロビーイベント」を実施し、緑区民文化センターと連携し「お昼のロビーコンサート」を開催しました。また、緑区環境・防災まるごとフェスティバルに出展し、小学生以下を対象に小鉢への絵描きと花植えワークショップを実施しました。
5 「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づく事業	中高生が読書に親しむきっかけ作りとして、「緑区中高生のヒトハコ図書館」を実施し、おすすめ図書を立方体の箱に収めた展示を行いました。また、横浜創英大学・東洋英和女学院大学それぞれと協働でおはなし会を実施しました。さらに、緑図書館開館30周年事業として「30周年大感謝祭」を開催しました。

● 読書活動推進事業

「開館 30 周年大感謝祭」

緑図書館、緑ほのぼの荘、十日市場地域ケアプラザの開館 30 周年を記念し、「開館 30 周年大感謝祭」を開催し、おはなし会や、紙芝居大会など多くのイベントを巡るスタンプラリーを実施しました。

開催日	令和7年11月22日
会場	緑図書館、緑ほのぼの荘、十日市場地域ケアプラザ
参加者数	合計 1,945 人
市民の声	「子どもたちがとても楽しそうにしていました。」 「様々なプログラムがあって楽しかった。」等



紙芝居大会の様子

● スポーツ振興事業

「みどりスポーツフェスティバル 2025」

幅広い年齢層が楽しめるスポーツ体験の機会として、「みどりスポーツフェスティバル 2025」を実施しました。

開催日	令和7年6月29日
会場	緑スポーツセンター
参加者数	888 人
市民の声	「なかなかやらないスポーツが体験できて、楽しかった。」「全部楽しかった!」「毎年楽しみに参加させていただいています!今年も家族で楽しめました!」等



キンボール体験の様子

● 青少年地域サポート事業

「トンボ先生と学ぼう!夏休みわくわく昆虫観察会」

緑区内の小学生を対象に、自然体験講座「トンボ先生と学ぼう!夏休みわくわく昆虫観察会」を実施しました。

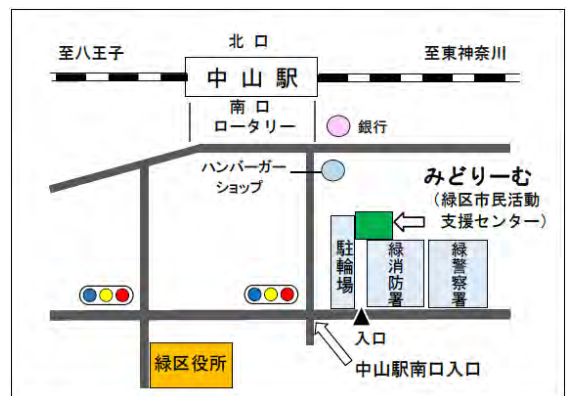
開催日	令和7年7月23日
参加者数	子ども 12 人、大人 12 人
市民の声	「図鑑では調べきれない貴重な話を聞いて嬉しかった。」「みんなと一緒にいろいろな昆虫が学べて楽しかった。」等



昆虫観察会の様子

緑区市民活動支援センター みどリーむ

住 所	緑区中山 4 - 36 - 20
交 通	JR・市営地下鉄グリーンライン中山駅南口 徒歩 4 分
電 話	045 - 938 - 0631
F A X	045 - 939 - 5401
利用時間	日曜・火曜・木曜・祝日 9:00～17:00 水曜・金曜・土曜 9:00～20:30
休 館 日	毎週月曜日・年末年始



みどリーむの特長

みどリーむの運営は、運営委員会と緑区役所との協働で行っています。運営委員会は、生涯学習や市民活動のきっかけづくりや楽しさを伝えるための講座やイベント、交流事業等を企画実施しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

生涯学習・市民活動の情報を集め、相談者へ情報の提供を行っています。

情報発信・収集

登録団体の活動内容やメンバー募集等の情報提供、広報誌「みどりのなかま」とホームページで実施事業をお知らせしています。

また、運営委員会がブログ、YouTube 公式チャンネル、Facebook、Instagram を活用して講座やイベントの様子などを配信しています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する「人材バンク“ちょっと先生”」の登録や紹介（コーディネート）を行っています。

場の提供・機材の貸出

会議室（定員 24、42 人）2 室、ミーティングスペース（定員 40 人）で会議や講座開催ができます。登録申請によりプロジェクターなどの館外貸出も行っています。

● Open! みどリーむ

地域活動を行っている高校生、大学生と大人世代が地域の未来について対話し、交流をしました。

テ ー マ	若者×地域活動で交流！
開 催 日	令和7年7月12日
参加者数	会場20人、オンライン9人
市民の声	「若者の力と熱意に接し、明るい未来を感じた」 「若者を支えられる大人にならなければと思いました」



地域で始めた活動を紹介する高校3年生

● みどリーむまつり 2026

みどリーむに登録している団体・ちょっと先生が、活動紹介、体験講座、パネル展示を行いました。みどリーむ20周年記念事業として年表の作成やスライドショーで過去10年を振り返りました。

テ ー マ	ありがとう つながり広げて20年
開 催 日	令和8年3月7日、8日
参加者数	1,111人
市民の声	「各コーナーの充実している活動に感動しました」 「多世代の交流ができてとても良いです」



祝・20周年。実行委員長と区長によるくす玉開き

● 生涯学級講座

「自然を楽しむ講座」：みどリーむ20周年記念事業として慶応義塾大学名誉教授の岸 由二氏を講師に迎え、長年水害に苦しめられた鶴見川流域の自然保護と治水について、講演会を開催しました。

テ ー マ	流域思考で生きのびる ～治水、土石流防災と自然保護～
開 催 日	令和7年12月6日
参加者数	160人
市民の声	「難しい内容の話もあったが、丁寧に説明していただき、より自然保護や災害対策に興味を持てた」



緑公会堂で行った講演会

「地域デビュー講座＜全4回＞」：資格や経験がなくても気軽にできるボランティアを体験し、地域にデビューするきっかけ作りを行いました。

テ ー マ	気軽にできるボランティア体験
開 催 日	令和7年12月20日～令和8年3月14日
参加者数	延べ22人
市民の声	「みどリーむまつりでボランティアを行い、子どもたちと話げできた。笑顔に接し楽しかった」



参加者が体験したボランティアの報告会

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

青葉区は、ボランティアや市民活動、文化・芸術活動などに主体的に取り組む区民が多く、生涯学習へのニーズも多様です。こうしたニーズに応えるため、区民が企画運営に関わりながら、交流を通じて主体的に学び、学習活動が自主的な活動へ発展していくことを目標に事業を実施しています。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 生涯学習・区民活動支援事業	
(1) 「まち活」で地域デビュー講座	地域の魅力や課題について意見交換しながら、仲間づくり及び地域活動を行うための企画やノウハウを学ぶ講座を開催しました。
(2) 区民企画運営講座	「まち活」で地域デビュー講座の受講生が団体を構成し、補助金を受けて事業の企画・運営を行い、令和7年度は2団体が立ちあがりました。前年度からの活動継続5団体による講座が計5回開催されました。
(3) 区民活動支援センター事業	市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域のつながりづくりを推進する事業を実施しました。
2 国際交流・多文化共生事業	
(1) 国際交流ラウンジ運営委託	青葉国際交流ラウンジを運営し、外国人市民に対して、生活情報の提供や、日本語教室の実施等を行いました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員連絡協議会の事務局としてスポーツ推進委員の活動を支援し、協力しました。
(2) スポーツ振興イベント事業	区民の誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントとして、マラソン大会を開催しました。
(3) スポーツ協会事業	スポーツ協会の事務局と協力して、地域スポーツの振興や、加盟スポーツ団体との連絡・調整を行いました。
4 文化・芸術関係事業	
(1) 青葉区民芸術祭事業	区民の企画・運営による各芸術分野（※）の展示や発表を行いました。（※絵画、書道、文芸、華道、写真、美術工芸、茶道、コース、器楽、芸能）
(2) あおば音楽ひろば事業	区役所1階区民ホールにて、毎月、青葉区在住の音楽家が出演するコンサートを開催しました。（※5月は実施なし）
(3) 青葉区シニアコンサート事業	NPO法人との共催により、高齢者の「生きがいつくり」を目的とした本格的なコンサートを開催しました。
(4) あおば美術公募展事業	区民の芸術文化の振興を図るため、区民からなる実行委員会や運営サポーター、大学などと協働して、絵画作品の公募展を開催しました。
(5) 郷土の歴史を未来に生かす事業	ふるさとである青葉区に理解と愛着を深めていただくため、青葉区域の郷土史にちなんだ全8回連続の「青葉のあゆみ歴史探訪講座」（歴史講座（座学）と歴史探訪（歴史散歩））を実施しました。また、あわせて毎年テーマを設定し実施する「青葉のあゆみ歴史講演会」も開催し、地域の歴史や魅力を広く発信しました。

● 「まち活」で地域デビュー講座

仲間とともに地域で活動していくために必要な知識やノウハウを習得することを目的に講座を開催しました。

開催日 令和7年9～10月（全5回）
参加者数 延べ39人
講師名 竹本 靖代（NPO法人あおば学校支援ネットワーク理事長）



「まち活」で地域デビュー講座の様子

● 区民企画運営講座

「まち活」で地域デビュー講座の受講生が、共通のテーマで仲間を作り、自ら企画運営する区民企画講座を実施しました（全5講座）。
 講座例：「見た目も中身も美しく！50代からの健康 HAPPY 講座」
 年齢による体の変化に伴う、美容・食・運動について学び、受講生同士で交流し、人と人がつながることを目的に講座を開催しました。

開催日 令和7年5月（全3回）
参加者数 延べ52人



区民企画運営講座の様子

● 青葉区民芸術祭事業

日頃の文化活動の成果を発表し、文化を通じた地域交流を推進することを目的に、コーラスや器楽、伝統芸能の発表を行うステージ部門と区内で芸術活動をする皆さんの作品を発表する展示部門を開催しました。

「青葉コーラスのつどい」
開催日 令和7年7月6日
参加者数 出演団体：46団体、来場者数：1,466人
 「青葉区民音楽祭」
開催日 令和7年9月14日、11月9日、12月7日、12月21日
参加者数 出演団体：8団体、来場者数：2,591人
 「青葉区民作品展」
開催日 令和7年11月26日～12月9日
参加者数 出品数：363点、来場者数：2,570人
 「青葉区民芸能祭」
開催日 令和7年12月13日・14日
参加者数 出演団体：40団体、来場者数：1,659人



青葉区民
芸術祭事業の様子



● 郷土の歴史を未来に生かす事業

事業一例：「青葉のあゆみ歴史探訪講座 2025」

全8回の連続講座として実施し、前半4回は大学教授や研究員を講師に迎え、時代ごとの歴史について座学で学びました。後半4回は、コース別に歴史探訪（歴史散歩）を実施しました。

開催日 令和7年6月～令和8年1月（毎月1回、全8回）
参加者数 68名（定員を上回る申込み）



歴史探訪の様子

青葉区区民活動支援センター

住所	青葉区市ケ尾町 31－4
交通	東急田園都市線市が尾駅 徒歩 8 分
電話	045－978－3327
F A X	045－972－6311
利用時間	月曜 ～ 金曜 8：45～17：00 第 2 ・ 4 土曜 9：00～12：00
休館日	日曜、祝日、年末年始、第 2 ・ 4 以外の土曜



センターの特長

青葉区区民活動支援センターは、活動を活性化するためのお手伝いや、さまざまな人や団体、活動をつなぐコーディネート、これから何かを始めたい人の相談を受けています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

- センターに常駐する「まち活コーディネーター」が、地域活動に関する相談対応を通じて、区民の活動の立ち上げ及び活性化を支援し、青葉のまちで活き活きと活動する区民の主体的な地域活動の促進に寄与しています。

情報収集

- 団体活動やイベントのチラシ等の配架や、月刊情報誌「Info まち活」を発行しています。まちの情報等、いろいろな資料が閲覧できます。

場の提供・機材の貸出

- **ミーティングコーナー**：市民活動・生涯学習活動の打合せなどに利用できます。
- **作業コーナー**：印刷機（有料・要予約）、紙折り機、裁断機等が利用できます。
- **貸しロッカー・連絡ボックス**：活動団体の資料の保管等に利用できます。（要団体登録）
- **まち活ギャラリー**：登録団体、まち活パートナーズ等の創造的、公益的な活動の発表ができます。
- **貸出機材**：マイクセット、プロジェクター、スクリーン、CD ラジカセ、紙芝居台、ハンズフリー拡声器、クリップボード、照明機器、ポップスタンド、電子ピアノ（要団体登録）

● まち活カフェ+（年間10回開催）

まち活カフェ+は、テーマに沿って地域で活動しているゲストスピーカーのお話を聞きながら学び、おしゃべりを通じて交流する場です。

「読書好きあつまれ！～あなたのおススメ本を教えてください～」

本の好きな方が集まって、世代を超えて交流ができました。

開催日 令和7年10月21日

参加者数 16人

ゲストスピーカー 青葉台コミュニティハウス「本の家」館長 小林千草さん、
図書担当 佐久間さん



まち活カフェ+の様子

● 市民活動支援・生涯学習講座（年間2回開催）

「はじめて学ぶ広報のき・ほ・ん」

地域活動の魅力を伝える発信力の強化を目的として「広報」の基礎講座を実施し、効果的に発信する広報のコツを学びました。

開催日 令和7年6月26日

参加者数 31人

講師名 松園 智美さん（認定NPO法人森ノオトスタッフ）

市民の声 「伝えたい側の視点ではなく、相手に届く「広報」が大切という内容は目から鱗でした。」「情報共有の時間が楽しく、仲間づくりの大切さを感じました。」



市民活動支援講座の様子

● 広報紙「Info まち活」の発行と

「まち活パートナーズガイド」改訂版の発行

当センター主催の講座情報をはじめ、まち活パートナーズや登録団体の活動紹介等を発信する「Info まち活」を発行した他、「まち活パートナーズガイド」改訂版を発行しました。

・「Info まち活」

発行部数 1,100部×12か月分

・「まち活パートナーズガイド」改訂版

発行部数 1,500部



情報紙「Info まち活」と
「まち活パートナーズガイド」改訂版

● 青葉区区民活動支援センターde 区民まつり

令和6年度に登録更新を行った活動団体の皆さんの日頃の成果の発表の場及び地域活動の魅力発信を目的として、展示コーナーとパフォーマンスコーナーの2つの部門で開催しました。

開催日 令和7年11月3日

参加者数 出演団体：24団体

市民の声 「内容がバラエティに富んでいて見応えがあった。（観覧者）」「準備する中で参加意識が高まり、当日は他の団体と交流もでき充実した一日だった。（参加者）」



区民まつりの様子

※右上：展示、左下：パフォーマンス

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民の自主的な学習活動や市民活動の振興を図るため、情報提供や活動の場の提供、活動に関する相談・コーディネートを行うとともに、活動成果の発表・交流の場を提供します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動・生涯学習支援	
(1) 区民活動センター事業	市民活動や生涯学習の相談窓口、情報提供、機材貸出し、ミーティングコーナーの提供、人材バンク制度などにより、市民活動・生涯学習全般の支援を行いました。
(2) 大人の部活動	令和6年度に結成した5団体の伴走支援を行いました。
(3) 縁ジンミーティング	区内で地域活動をしている方に向けて、活動する上で必要な知識やノウハウについて学ぶ講座を実施し、団体同士での交流を図りました。
(4) つづき人交流フェスタ	区内の市民活動団体・グループが活動内容を紹介して区民活動の楽しさを広め、ネットワークを広げるイベントを開催しました。
(5) 縁ジンWEB版ライター	都筑区民活動センターのホームページに、「市民ライター講座」を受講した方が都筑区の市民団体や施設を紹介する記事を作成し、掲載しました。
(6) 交流サロン	区民が地域活動を知るきっかけ作りや地域団体との交流を深めるためのサロンを開催しました。
2 青少年健全育成事業	
(1) 青少年指導員事業	青少年指導員による各地区での青少年健全育成活動を実施しました。
(2) はあとdeボランティア	青少年の自主性や社会性を育むため、夏休み期間中に小・中高生がボランティア体験をする場を提供しました。
(3) つづきユースフェスティバル	青少年の自己表現機会の創出や世代間交流等を目的とし、区内中学校・高校の吹奏楽部などが発表できる場として、文化イベントを実施しました。
(4) 青少年支援者講座	青少年を支援する地域づくりにつながる講座を実施しました。
3 スポーツ振興事業	
(1) スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員による各地区でのスポーツ振興活動を実施しました。
(2) 都筑ダイバーシティスポーツ事業	ダイバーシティ＆インクルージョンをテーマに障害児(者)やその家族、外国人や外国につながる子どもにも重点を置き、インクルーシブスポーツのイベントを実施することで、誰もが楽しめるスポーツの機会づくりの機運醸成を図りました。
(3) スポーツ協会支援事業	区民スポーツの振興のため、都筑区スポーツ協会の活動を支援しました。
(4) 都筑スポーツ・文化賞	顕著な功績を収めた方を表彰し、区民の皆様に紹介しました。
(5) プロスポーツ支援事業	区内に拠点を置くプロバスケットボールチーム、横浜ビー・コルセアーズのPR活動の支援や、地域が一体となってチームを支える体制づくりに取り組みました。
4 文化活動支援事業	
(1) 区民文化祭	日ごろから文化活動を行っている方々による、ダンスや合唱等を実施しました。また、30周年企画として過去の展示作品等の展示やバレエの発表等を行いました。
(2) 読書事業	読書活動の推進を図るために、おでかけ図書館やブックフェスタ、関係機関による懇談会を実施しました。
5 都筑多文化・青少年交流プラザ事業	
(1) 在住外国人支援・国際交流事業	外国人市民のための生活情報の提供、外国人支援ボランティアの養成や講座の開催等を行いました。また、子育て支援センターやNPO団体と協力し、障害や国籍にとらわれず誰もが楽しめるイベントを実施しました。
(2) 青少年の地域活動拠点事業	中高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営ができる場を提供しました。
(3) 市民活動支援	市民活動団体・グループに活動の場の提供を行いました。
6 区民利用施設管理・運営	地区センター、スポーツ会館、公会堂、老人福祉施設の指定管理に伴う総合調整を行いました。

● つづき人交流フェスタ

区内の市民活動団体等の活動内容をパネル展やワークショップによりPRし、より多くの区民の方が活動を始めよう働きかけました。令和7年度は新たな試みとしてステージ企画を設け、音楽ダンスといった音の出る団体も披露できるようにしました。また、区内4か所にクイズラリーポイント設置し、区役所内の回遊性をもたせる工夫をしました。

開催日 令和8年3月12日～3月15日

参加者数 パネル展出展：54団体
ワークショップ出展：25団体
ステージ企画：10団体
交流会：約60名

市民の声 ステージ・パフォーマンスが「素晴らしかった」「流れが良かった」



ステージ企画の様子



つづき人交流フェスタパネル展様子

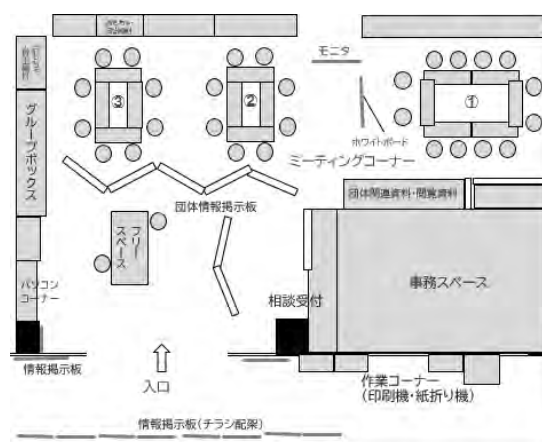
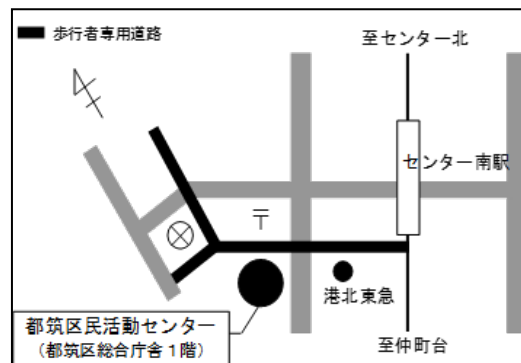
● 大人の部活動

令和6年度に発足した5つの団体の伴走支援が中心の年のため、毎月の定例会の開催や区民向けのイベントの開催など、地域活動団体としての活動について支援を行った。

団体名	団体紹介	活動内容等
緑道グループててるの会	都筑区の緑道に親しむことを基本にしてコミュニティを構築し、みんなではじめの一步をふみだし歩いて・見て・食べるを楽しむ会	定例会の開催、ビール工場の見学など団体の活動が中心。
多文化交流グループ	外国人の方を、既存の国際交流サロンといった公的な機関ではできない、住民、区民レベルで交流ができる場を作ることが活動の目的	定例会の開催、イベントの開催（Japanese Tea Ceremony Experience（茶道体験））
環境グループ	環境にやさしい取り組みをみんなで考え、アクションを起こしていく。 “くるりん”には、楽しく回る、みんなでつながるという意味もこもっている。	定例会の開催、イベントの開催（つづきで”循環ライフを推進～マイコンポストで始める生ごみ削減）
交流カフェゆうゆう部	住民同士の交流活動を通じ、居心地の良い「居場所」をつくり、相互に無理なく助け合えるネットワークの醸成が目的	定例会の開催、イベントの開催（養生ごはん）
All Around 多趣味倶楽部	地域住民の孤立を防ぐためのイベントを企画・運営し、「一人ではなく、地域の人たち、みんなと交流しながら楽しむ」場の創出を目的とし、「ゆるく集まるクラブ」を活動方針としている。	定例会の開催、イベントの開催（都筑の自然と歴史を楽しむ街歩き＆ワークショップ）

都筑区民活動センター

住 所	都筑区茅ヶ崎中央 32-1 都筑区役所 1 階
交 通	市営地下鉄センター南駅 徒歩 5 分
電 話	045-948-2237
F A X	045-943-1349
利用時間	9:00~17:00
休 館 日	毎月第 3 月曜、日曜、祝日、年末年始



都筑区民活動センターの特長

都筑区民活動センターは、都筑区総合庁舎の 1 階という多くの情報・人が集まる環境をメリットと捉え、各施設が連携し地域の皆様の活動がより広がるよう運営しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

何か始めたいという思いのある個人の方や、運営の悩みを抱える団体の皆様の相談を受け、アドバイスをします。

情報発信・収集

区内で行われるイベントや、団体のメンバー募集情報などのチラシを配架しています。また区民活動センターの情報紙「縁ジン瓦版」を隔月で発行しています。

人材の発掘・育成・活用

特技や技能を地域に活かしたい方を「まちの先生」に登録しています。利用したい団体の依頼に基づき紹介します。

場の提供・機材の貸出

活動の打ち合わせのためのミーティングコーナーや印刷機、貸グループボックスがあります。会議やイベントで使用するプロジェクター、着ぐるみ、おもちゃ等を貸出します（要登録）。



◀ 区民活動センター
マスコットキャラクター「モモちゃん」

● 縁ジンミーティング

市民団体向けのスキルアップ講座を実施しました。

「自分も相手も大切にする話し方～アサーティブコミュニケーション～」

開催日 令和7年10月

参加者数 115人

講師名 特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定講師
渡辺 由美氏



縁ジンミーティングの様子

● 交流サロン

おしゃべりを通して新たな出会い・つながりをつくる交流の場として開催しました。区民活動センターに登録している特技を持ったボランティアによる体験講座を入れながら、新しい活動を見つけるきっかけを提供しました。

開催日 令和7年5月17日、7月18日、9月15日、
11月21日、1月16日

参加者数 103人（年間）



交流サロンの様子

【生涯学習事業推進の考え方】

地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 区民活動支援事業	
(1) 読書活動推進事業	区民が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校等が連携して読書活動の推進に取り組みました。また、「とつか読書マップ」(戸塚区内の図書貸出を実施している施設・小学校市民図書・公立保育園等を紹介するリーフレット)を作成し、配布を行いました。
(2) とつか区民活動センター運営事業	市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託運営団体と協働で運営しました。また、平成24年3月から区役所3階情報コーナーの運営も行っています。
2 地域文化振興事業	
(1) 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	区内小学校、中学校、高等学校の児童・生徒による日頃の文化活動の成果を発表する場として、ステージ発表、作品展などを行いました。
(2) ウナシー普及事業	「ウナシー」を多くの区民の方々に周知することにより、区に愛着を持ってもらい、郷土心の醸成を図るため、着ぐるみの貸出しを実施しました。
3 とつか音楽の街づくり事業	
(1) 区民広間コンサート	毎月第3土曜日の「とつか音楽の日」に、区内を中心に活動する音楽活動団体のコンサートを実施しました。
(2) とつかストリートライブ	毎月第3土曜日の「とつか音楽の日」に、ストリートミュージシャンによるライブを実施しました。その他、フェスを開催したほか、商店街のイベント等にアーティストを派遣しました。
(3) 音楽交流広場	生の音楽に触れる機会の少ない子育て中の保護者と子ども（主に乳幼児～未就学児）を対象とした参加費無料の体験型コンサートを実施しました。
4 戸塚区民まつり事業	
(1) 戸塚ふれあい文化祭	区民の方々が日ごろの文化活動の成果を発表し、交流する場として、舞台発表、作品展示などを行いました。
5 スポーツ・レクリエーション振興事業	
(1) スポーツ・レクリエーション振興事業	区民が身近な場所でスポーツに親しむ機会の提供、日常生活における生涯スポーツやレクリエーションを振興しました。また、トップスポーツチームと連携し、区政のPR活動や区民を対象とした試合観戦の機会を提供しました。
6 青少年健全育成事業	
(1) 地域で育む青少年健全育成事業	青少年の健全育成に寄与する活動を行っている地域団体の支援を行うため補助金を交付しました。

● とつか区民活動センター運営事業

市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動の支援のため、とつか区民活動センターを区民の方々に構成されている「NPO 法人くみんネットワークとつか」と協働で運営しています。

● 2025 年度 戸塚区地域施設間連携促進事業

区民利用施設間の連携を促進し、地域の課題・情報の共有化および課題解決に向けた取組を行える関係性の構築を目的として、研修会を 2 回実施しました。

第 1 回研修会では、「業務に役立つ『知的財産』の今について学ぼう」テーマに講義とワークを行い、業務に活用できる知識の習得と参加者間の交流の機会を設けました。

第 1 回「業務に役立つ『知的財産』の今について学ぼう」

開催日	令和 7 年 9 月 4 日
講師名	弁理士 湯口文丸 氏
出席者	34 名（29 施設）
参加者の声	アンケート回答者全員から、本研修が今後の業務に活用できると回答がありました。



第 2 回研修会では、施設見学とグループワークを通じて、各施設の取組や地域課題について情報共有・意見交換を実施し、施設間の相互理解とつながりの促進を図りました。また、区民利用施設の役割や活動内容を広く周知するため、施設紹介展示を実施し、地域への情報発信を行いました。

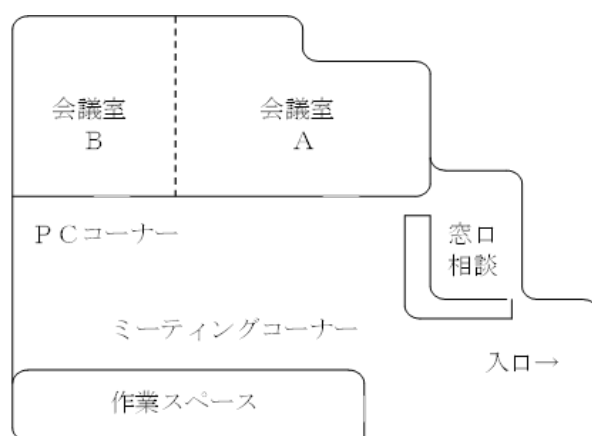
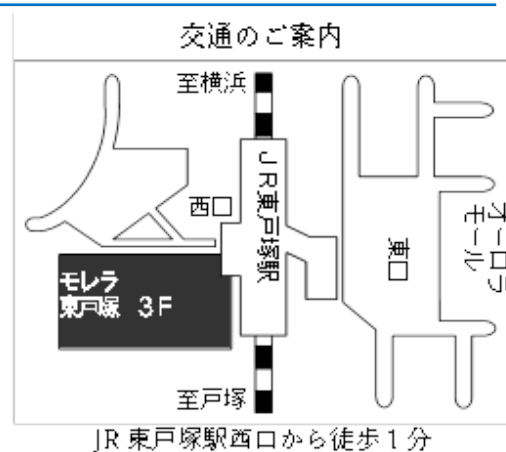
第 2 回「老人福祉センター戸塚柏桜荘見学」

開催日	令和 8 年 1 月 23 日
出席者	15 名（13 施設）
参加者の声	施設見学を通じて各施設の工夫や雰囲気を具体的に知ることができた点や、グループワークによる意見交換・情報共有が高く評価されたことがわかりました。



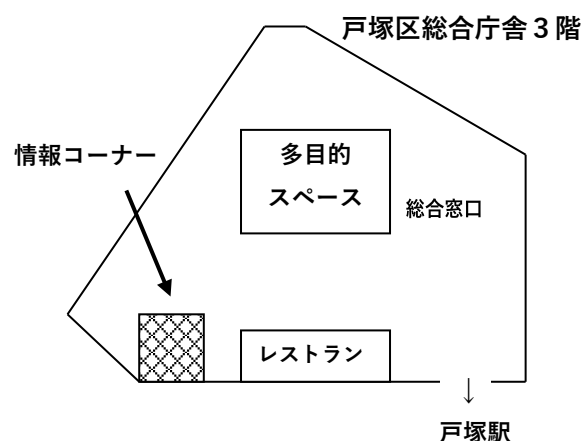
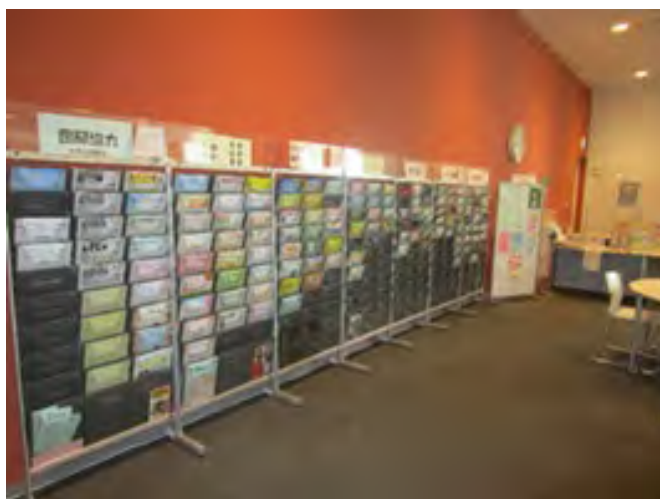
とつか区民活動センター

住 所	戸塚区川上町 91-1 モレラ東戸塚 3 階
交 通	JR 東戸塚駅 徒歩 1 分
電 話	045-825-6773
F A X	045-825-6774
利用時間	火曜～金曜 9:00～21:00 土日、祝日 9:00～17:00
休 館 日	毎週月曜・年末年始



戸塚区総合庁舎 3 階情報コーナー

住 所	戸塚区戸塚町 16-17 戸塚区役所 3 階
交 通	JR、市営地下鉄戸塚駅 徒歩 2 分
利用時間	8:45～17:00
休 館 日	土日、祝日・年末年始



センターの特徴

インキュベーション（活動入門）、エンパワーメント（活動力アップ）、ネットワーキング（連携構築）の3事業を柱に運営しています。

【インキュベーション】

- ボランティアのいろは、とつカレッジ（区と共催）

【エンパワーメント】

- スキルアップ講座、ICT 応援事業、とつか さくら塾

【ネットワーキング】

- とつかお結びプロジェクト「とつかの地域活動とあなたを結ぶ活動紹介展」、地域施設間連携促進事業（区と共催）、活動者・活動団体連携応援事業、地域や他施設との連携事業

● 「とつかの地域活動とあなたを結ぶ活動紹介」

活動紹介展を通じ、人と人とのつながりを深め、活動に参加する人の裾野を広げ、豊かな戸塚を創出しました。各所でパネル展示を行い、出展者同士の交流が生まれたほか、戸塚区のさまざまな活動を知る良い機会となりました。

1 「とつかの地域活動とあなたを結ぶ活動紹介展」（戸塚・東戸塚）

「とつか地域活動ミニフェスタ in 戸塚」

「とつか地域活動ミニフェスタ in 東戸塚」

開催日	① 令和7年11月18日～11月26日 ② 令和7年12月2日～12月5日 ③ 令和8年1月21日～令和8年1月27日 ④ 令和8年1月25日
出展参加者数	出展：53団体 参加者：約1,000名
会場	① 戸塚区総合庁舎3階 区民広間 戸塚図書館、東急プラザ戸塚 ② 戸塚区総合庁舎3階 区民広間 ③ 西武東戸塚S.C.7階 ファーストブリッジ ④ とつか区民活動センター
対象	・地域活動に興味関心がある個人 ・センター登録団体・個人 ・地域活動に興味関心がある学生



活動紹介展会場の様子



とつか地域活動ミニフェスタ in 東戸塚の様子

2 「とつかおむすびプロジェクト出展者説明会」

開催日	令和7年8月1日
参加者数	出展者42団体 ボランティア1人
内容	活動紹介展概要説明を行い、質疑応答、作業分担決めグループごとにテーマを決めて交流を行いました。



活動紹介展会場の様子

【生涯学習事業推進の考え方・目標】

少子高齢化の急速な進展や、ライフスタイルの多様化、人間関係の希薄化など、生涯学習を取り巻く社会的背景は変化し続けており、多様な個性やニーズに応じた学びの場の提供が求められています。

特に栄区は幅広い年代の区民が地域において熱心に区民活動を行っている地域であり、区民一人ひとりが学びを通じて、自己実現や地域での仲間・絆づくり、まちの活性化につなげることができるよう、区民を主体とした生涯学習事業を推進します。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 地域の人材育成支援事業（区民活動支援事業等）	
(1) 栄区区民活動支援事業	一人でも多くの区民の方が、地域コミュニティに魅力を感じ、地域活動に参加するきっかけづくりを目的とした区民利用施設を巡り活動や取組を知るイベント「栄区民利用施設スタンプラリー」を実施しました。
(2) 情報紙「栄区民施設のご案内」	より多くの区民の方が、さかえ区民活動センターや地区センター等を利用し、生涯学習や地域交流のきっかけとなるよう、区内施設を紹介する情報紙を発行しました。
(3) 栄区青少年指導員事業・SAKAEヤングフェスティバル	青少年の健全育成のため、各地区の地域活動、区協議会活動、社会環境健全化活動、研修等を実施しました。また、青少年の地域参加を図るため、SAKAEヤングフェスティバルを実施しました。
2 スポーツ振興事業	
(1) 栄区スポーツ推進委員事業	地区単位での運動会やレクリエーションイベントを支援しました。
(2) スポーツ大会等への活動支援	区民大会や区民教室等の実施に対する補助を行いました。
(3) 栄区民ロードレース大会	区民の体力の向上及び健康づくり、スポーツを通じた区民の交流を目的とし、ロードレース大会を実施しました。
(4) スポーツ安全対策協議会	区内スポーツ団体を対象に、出前けが予防講習を行いました。また、スポーツ安全対策協議会講演会「スポーツをもっと長く楽しむために」を開催しました。
3 文化・芸術振興事業	
(1) 栄区民芸術祭	区民の文化意識の高揚と文化活動の活性化及び地域コミュニティの醸成を図ることを目的に、区民芸術祭を実施しました。
(2) 栄区の歴史・文化事業	「郷土史ハンドブック」、「歴史散策マップ」及び「栄の歴史」を販売しました。また、歴史に関心のある大人及び区内小学生を対象に、歴史の魅力を伝える講座を実施しました。
(3) 友好交流都市事業	区民まつり、地区センターまつりで友好交流都市の特産品の販売や交流活動のPRを実施しました。また、友好交流都市について学ぶ子ども向け講座を実施しました。
(4) 読書活動推進事業	栄区読書活動推進講演会「村上雅郁さん講演会」を実施しました。また、中学生を対象とした読書啓発イベント「ビブリオバトル in SAKAE」を実施しました。

● SAKAE ヤングフェスティバル 2026& 栄区中学校対校駅伝大会

「SAKAE ヤングフェスティバル」は、区内中学生が青少年指導員を中心とした、地域の方々と交流することで社会性や人間性を育むとともに、地域社会参加へのきっかけとすることを目的に開催しています。「中学校対校駅伝大会」はスポーツを通じて、青少年の健全育成を図ることを目的として開催しています。

開催日 令和8年3月21日

参加者数 ヤングフェスティバル 来場者数 5,000 人
栄区中学校対校駅伝大会 参加者数 112 人



● 第36回栄区民ロードレース大会

地域の各種団体からなる実行委員会が主体となり、区内の一般道路を利用し、栄区民ロードレース大会を開催しています。小学生からシニア世代まで幅広い年代の区民の方々が参加しました。

開催日 令和8年1月17日

参加者数 1,292 人（申込者数）



栄区民ロードレース大会チラシ

● 栄区多文化共生事業

区内で学ぶ日本語学習者が、スピーチ、歌、踊りで自身の出身地について紹介する「世界のふるさと自慢大会 in 栄区」を開催しました。身近な日本語学習者の現状や背景について理解を深め、相互理解を促進するとともに、日本語学習支援活動への関心を高めることを目的としています。

開催日 令和8年2月7日

参加者数 85 人



5 か国 6 名の日本語学習者が
様々なテーマで発表

● 栄の歴史・文化事業

歴史の魅力を伝えるため、埋蔵文化財センターと連携し、古代のアクセサリーのひとつである勾玉を作る子ども向け講座を実施したほか、区内にある横穴墓について学ぶ講座と現地見学会「宮ノ前横穴墓群見学会」を実施しました。

開催日 勾玉づくり講座 令和7年7月27日

宮ノ前横穴墓群見学会 令和8年1月31日

参加者数 勾玉づくり講座 73 人

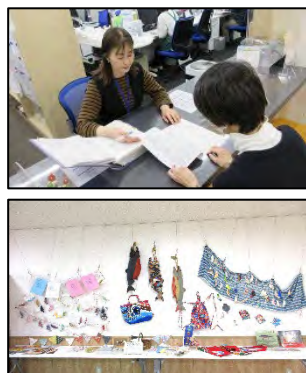
宮ノ前横穴墓群見学会 21 人



「勾玉づくり講座」の様子

さかえ区民活動センター

住 所	栄区小菅ヶ谷 1 - 5 - 4 SAKAESTA 内
交 通	JR 本郷台駅 徒歩 3 分
電 話	045 - 894 - 9900
F A X	045 - 894 - 9903
利用時間	9 : 00 ~ 21 : 00 (日・祝は 17 : 00 まで)
休 館 日	第 3 月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始



さかえ区民活動センターの特徴

さかえ区民活動センターは、市内で初めて「地区センター」と「地域ケアプラザ」及び「区民活動センター」の 3 つの機能が一体になった複合施設 SAKAESTA として運営しています。

3 つの施設の一体運営により、多くの情報・人が集まる環境が生まれており、各施設が連携し、地域の皆様の活動がより広がるような施設を目指しています。

相談・コーディネート・ネットワークづくり

- 生涯学習・市民公益活動の相談に対応するとともに、区民や団体への情報提供を行っています。
- 仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する「人財バンク」の登録、紹介（コーディネート）を行っています。

情報発信

- 行政や地域の情報、各種イベント、講座等の案内を配架コーナーで提供しています。
- 団体の活動内容やメンバー募集等の情報発信のほか、情報誌「SAKAESTA News」を年 4 回発行し、配布しています。

場の提供・機材の貸出

- 会議室（定員 25 名）1 室、ミーティングスペース（10 人以下）で会議や打合せができます。
- 印刷室では、活動に必要な資料やチラシの印刷、コピーができます。また、裁断機や丁合機、紙折り機などの機材の利用もできます。
- 団体の PR や団体間の情報交換交流ツールとして、グループボックス（92 個）を貸し出しています。
- 登録団体の活動成果を発表する場として、「SAKAESTA ギャラリー」や「本郷台駅前駐輪場展示スポット」を貸し出しています。

● 栄区活動団体交流会

区内で活動する団体同士のつながりづくりと情報共有を目的に団体交流会を開催しました。

交流会ではインクルーシブスポーツであるボッチャを体験し普段は別々に活動をしているメンバーがグループを組んで対抗戦を行いました。普段接点の少ない同士が知り合う良い機会となり今後の連携につながるきっかけとなりました。

展 示 期 間 令和7年10月4日

参 加 者 数 20人

参加者の声 「他の団体の人と知り合えてよかった」
「ボッチャも楽しかった。また開催して欲しい」



交流会の様子

● 人が集まる企画と魅力的なチラシの作り方

イベントなどのチラシを効果的に作成するための講座を行いました。講座では実際のチラシを比較しながら、思わず手にとりたくなるチラシの特徴や工夫について学びました。また企画力やPR力の重要性を改めて確認する機会となり、今後の団体活動の活性化につながる有意義な講座となりました。

開 催 日 令和8年1月14日

講 師 坂田 静香

参 加 者 数 延べ17人

参加者の声 「大変分かりやすかった。今後、チラシを作る時の参考にしたい」
「内容が濃く大変勉強になった」



講座の様子

● 人財バンク登録者による茶話会

人財バンク登録者を対象に茶話会を行い、日ごろの活動や困りごとなど意見交換をしました。

3日の日程で行うことでたくさんの登録者が参加し、さらに地域活動をひろげる機会となりました。

開 催 日 令和7年1月23日・2月15日・3月13日

参 加 者 数 24人

参加者の声 「他の方の活動を知ることができてよかった」
「連絡先を交換しました。今後一緒になにかできるといいなと思いました」



茶話会の様子

【地域活動及び生涯学習支援事業推進の考え方・目標】

区民一人ひとりが、自分らしいライフスタイルを楽しみながら安心して心豊かに暮らせるまち「泉区」の実現を目指しています。区内における多様な人材と団体のいきいきとした活動を活発にするため、団体間の交流促進やテーマ別コミュニティへの参加のきっかけづくりの支援をしています。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 市民活動・生涯学習支援	
(1) 区民活動支援センター運営事業	・区民活動支援センター（泉区役所内）を運営し、区民の地域活動及び生涯学習等に関する情報提供や相談対応、機材の貸出し、ミーティングスペースの提供、講座の開催などを通じて、地域活動や生涯学習等の活動が活発になるような支援を行いました。 ・知識や経験・特技を地域で役立てたいボランティアの講師やパフォーマー、仲間を募集しているサークルの登録制度「人財バンク」を活用した紹介（コーディネート）を行いました。 ・地域や区民活動団体が抱える課題の解決及び魅力ある地域づくりに必要となるノウハウ習得やスキルアップのための講座や、地域活動及び生涯学習のきっかけづくりや地域の担い手を育成する講座等を開催しました。
(2) 読書推進事業	・区民の方が身近な場所で読書活動を楽しむことができるよう、区役所・図書館・学校が連携して読書活動の推進に取り組み、読書スタンプラリーやおすすめの本紹介シートの展示等を実施しました。
2 多文化共生	
(1) 多文化共生推進事業	・いずみ多文化共生コーナーを運営し、外国籍等区民の相談対応及び生活に関する情報提供をするとともに、日本の生活習慣等への理解を深める等を目的とした「日本語教室」を開催しました。
3 青少年育成	
(1) 青少年指導員事業	・青少年指導員が実施している様々な活動を支援しました。 ・青少年指導員・スポーツ推進委員等、地域の大人と子どもが顔の見える関係を築くため、「こどもの遊び場」を実施しました。
4 スポーツ振興	
(1) スポーツ推進委員支援事業	・スポーツ推進委員の活動の支援を行いました。
(2) 区民スポーツ振興事業	・地域に密着したスポーツ活動を展開するための支援を行いました。
5 文化振興	
(1) 文化振興事業	・文化団体の活動成果の発表の場として、区役所1階区民ホールで、展示・発表会を開催しました。 ・つるし飾り展を開催しました。
(2) いずみ伝統文化保存事業	・相模風揚げ会、太鼓・お囃子フェスティバル（太鼓・お囃子）や横浜いずみ歌舞伎公演等を通じ、伝統文化を保存・普及・継承する団体の活動の支援を行いました。

● 第39回泉区青少年フェスティバル ～自分・発信 今こそ伝えよう～

「第39回泉区青少年フェスティバル」は、青少年の健全育成及び青少年と地域との交流を目的として、地域の子ども達が日頃から取り組んでいるダンスや和太鼓演奏など、多くの観客の前で日頃の練習の成果を発表する場として開催しました。全13団体が出演し、子どもたちの努力や熱意が観客に伝わり、会場は大いに盛り上がりを見せました。

開催日	令和8年3月1日(日)
参加者数	出演者数：327人(13団体) 来場者数：約600人
市民の声	「日ごろ頑張っている子どもたちに、このような発表の場があるのはとても素敵だと思いました」 「子どもが頑張っている姿を見る機会がありませんので、こういうイベントがあるのは嬉しいです。感動しました」 「これから地域を担っていく子どもたちが、日頃がんばっていることを発表できる場が持たれ、嬉しい限りです」



フェスティバルの様子

● いずみ文化振興事業

区民の手による文化振興のため、区役所区民ホールでの文化活動の展示・発表の場の提供や、地域に伝わる伝統文化(横浜いずみ歌舞伎、太鼓・お囃子、相模風)を保存、普及、継承する活動を支援しました。

開催日	相模風いずみ保存会
・	令和7年5月 いずみ相模風揚げ会
内容	令和8年1月 新春いずみ相模風揚げ会
	泉郷土芸能保存会
	令和7年5月 いずみ相模風揚げ会に出演
	令和7年6月 泉区太鼓・お囃子フェスティバル
	令和8年1月 新春いずみ相模風揚げ会に出演
	横浜いずみ歌舞伎保存会
	令和7年10月 横浜いずみ歌舞伎公演、衣装・小道具展
	泉つるし飾り展
	令和8年2月 区民の手作りしたつるし飾りを展示



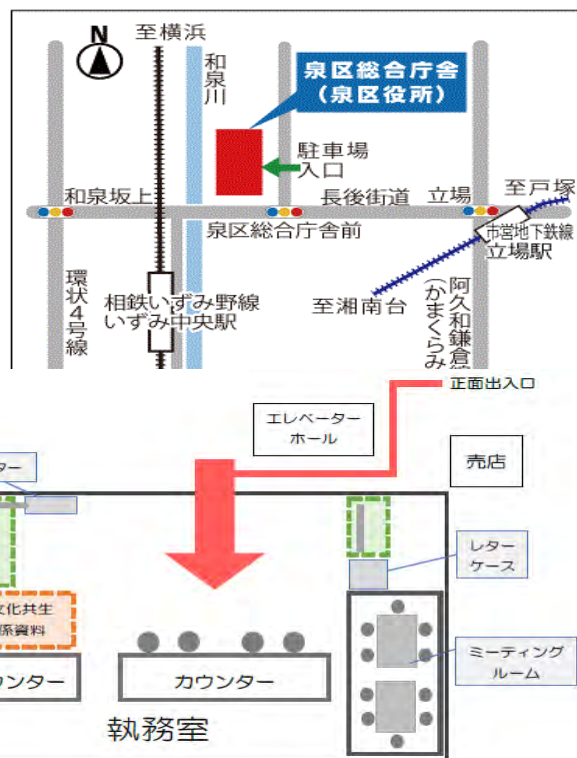
横浜いずみ歌舞伎公演の様子



泉つるし飾り展の様子

いずみ区民活動支援センター

住 所	泉区和泉中央北5-1-1 泉区役所1階
交 通	相鉄いずみ野線 いずみ中央駅 徒歩5分
電 話	045-800-2393
F A X	045-800-2518
利用時間	8:45~17:00
休 館 日	土日・祝日・年末年始



《いずみ区民活動支援センター・いずみ多文化共生コーナー》

いずみ区民活動支援センターの紹介

地域での活動に関心のある人、すでに地域で活動をしている個人・団体からの活動等に関する相談への対応、地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり、地域活動や生涯学習等の情報提供を行い、活動が活発になるように支援をしています。

● 泉区人財バンクの運営

- ・泉区人財バンクは、知識や経験・特技を地域で役立てたい講師や団体、仲間を募集しているサークルなどの団体が登録し、ホームページで登録情報を公開しています。

● 情報発信

- ・行政や地域、団体が実施する各種イベントの情報、講座案内等を配架コーナーで提供しています。
- ・当センター主催のイベントのお知らせや情報紙「センターだより」を発行しています。

● 区民利用施設間のネットワークづくり

- ・区内の区民利用施設の担当職員が集まり、情報交換等を行っています。

● 交流・活動の場の提供・機材の貸出

- ・センター内のミーティングルーム（10人以下）を、勉強会、会議、打合せ、作業等に利用できます。
- ・レターケースを、団体の活動資料や書類の保管、情報交換に利用できます。
- ・プロジェクターやスクリーン等、地域のイベントや学習に役立つ機材を貸し出しています。

●生涯学習講座

①公園を花と緑で彩る講座と②共読を学び体験する講座を実施しました。

講座名	「公園はみんなのお庭～公園を花と緑で彩ろう～」
開催日	令和7年7月12日（土）
参加者数	7人
講師	泉中央公園美化活動有志のみなさん 社会福祉法人 開く会 フラワーアーク 泉土木事務所 公園コーディネーター 山田 貴子氏
市民の声	「親子で公園に花を植える体験ができて良かった」



講座名	「共読のすすめ～読む・語る・つながる～」
開催日	令和8年1月30日（金）
参加者数	12人
講師	千代田区立千代田図書館サービスプロデューサー 坪内 一氏
市民の声	「共読」を知ることができて良い機会となった」



●訪問記

泉区人財バンク登録者（団体・個人）の活動場所に、支援センター職員が訪問し、活動の様子をまとめたものが「訪問記」です。区役所内での掲示及びホームページで公開しています。日頃の活動する様子や団体を運営する際の工夫などがたくさん盛込まれています。

訪問件数 | 5件



●人財バンクの活動PR（体験会・活動紹介）

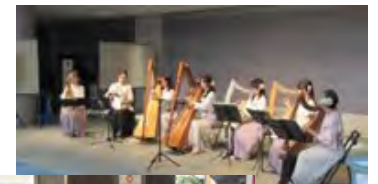
【ポスター&チラシ展】商業施設と区役所区民ホールの2会場にてポスター展示やチラシ配架を行い、泉区人財バンク登録者の日頃の活動をPRしました。

開催日	令和8年3月9日（月）12:00～19日（木）15:00 会場：泉区役所区民ホール 令和8年3月25日（水）16:00～26日（木）15:30 会場：ゆめが丘ソラトス
団体数	30件
市民の声	「様々な活動が1度に分かり、探し回らず便利」



【発表】区民ホールにて、人財バンクに登録している団体による発表を通じ、パフォーマー紹介制度の認知度アップを図りました。

開催日	令和8年3月16日（月）～19日（木）
団体数	4件
市民の声	「入団を事前に考えておられたお客さまが来てくださった」



【ワークショップ】ゆめが丘ソラトスにて実施しました。泉区人財バンクに登録している団体がワークショップを行い、多くの方に参加していただきました。

開催日	令和8年3月26日（木）
参加者数	約90名
団体数	10件
市民の声	「商業施設で、本来ターゲットにしたかった年齢層の方々と接点を持つことができた」



【生涯学習事業推進の考え方・目標】

区民と協働して、生涯学習、文化・芸術振興、スポーツ振興、青少年健全育成、読書活動推進などの活動を推進します。また、地域における自主的な活動を様々な面から効果的に支援し、いきいきとした快適なまちづくりを進めます。

【令和7年度 実施事業】

事業名	事業説明
1 いきいき区民活動支援事業	
(1) いきいき区民活動支援補助金	区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化につながる事業及び活動に対し、補助金を交付しました。
(2) 区民活動応援事業	区民活動の拠点となる区民活動センターを中心に、団体と関係施設等のネットワークづくりや既存団体の活動支援及び新たな区民活動団体の創出を目的とした講座を開催し、区民活動の活性化を図りました。
2 地域人材発掘・育成事業	地域の課題を話し合う場に専門家を派遣し、話し合いの整理や助言、講演等を実施しました。
3 青少年育成支援事業	
(1) セヤッコ体験事業	子どもたちの未来につながる体験を提供するため、瀬谷の魅力を生かした小学生向け職業体験（農業・工業・商業コース）を実施しました。
(2) 青少年関連団体支援事業	地域ぐるみの青少年育成を推進するため、青少年育成に尽力する地域団体同士の相互連携を図る連絡会を実施しました。
4 青少年指導員事業	瀬谷区青少年指導員連絡協議会の活動を支援し、地域における青少年健全育成活動を推進しました。
5 スポーツ推進委員事業	地域スポーツ・レクリエーションの推進役として市から委嘱されたスポーツ推進委員の活動を支援しました。
6 スポーツ振興事業	
(1) トップスポーツ連携事業	横浜FCや横浜F・マリノスと連携した事業を実施し、トップスポーツチームとの協働によるスポーツ振興に取り組みました。
(2) スポーツ協会への補助事業	加盟種目協会で構成される区スポーツ協会が実施・開催する区民スポーツ大会・教室及び青少年の健全育成、高齢者の健康維持等のための地域スポーツ活動を支援しました。
(3) 地域スポーツ振興事業	瀬谷区を拠点とするレーヴェ横浜と子ども・親子向けビーチサッカーイベント「みんなで遊Beach! はだしで楽しくビーチサッカー体験」を実施し、スポーツ振興を図りました。
7 読書との出会い応援事業	第三次瀬谷区読書活動推進目標を策定し、目標に基づき読書スタンプリーの実施、区内地区センター等へのりんごの棚巡回事業、図書館の本を小学校・保育園に貸出する学校図書館等連携事業の実施等、幅広い層を対象に読書活動を推進しました。
8 多文化共生事業	年に2回行う区民団体との情報交換会に、小中学校教諭で構成される国際教室の担当者を招きました。全体で課題を共有しながら、ルーツ問わず区民が暮らしやすい瀬谷区づくりおよび多文化共生を推進しました。
9 歴史・文化振興事業	区民及び区外の人に気軽に街歩きをしてもらうきっかけづくりのため、瀬谷まち歩きリーフレット「せやさんぽ」の作成や「瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ」の配布を行いました。また、ガイドマップ掲載コースを歩く区民に記念品を交付し、ウォーキングの促進を図りました。

● **いきいき区民活動支援補助金（いきいき区民活動支援事業）**

地域で活動する団体が実施する事業（催し・講座など）や、団体が地域で活動するための支援として、補助金の交付を行いました。

交付件数 | 24 件



補助金団体活動の様子

● **「花せやまる」をつくろう！プロジェクト
（いきいき区民活動支援事業）**

横浜グリーンエキスポの機運醸成および花を育てることを通して、生活に彩りを加え、博覧会終了後も園芸の魅力を持続的に感じてもらうこと、花をテーマに活動している団体が横浜グリーンエキスポに向けて活動を継続し、機運醸成の取組に参加できていることを目的として、ドーム菊の育て方講座を実施しました。また、講座後の育成サポート及び参加者間の交流促進のための「菊の輪サロン」を実施しました。

〈講座名〉「花せやまる」をつくろう！プロジェクト

開催日 | 令和8年3月29日（日）

参加者数 | 計47名

講師 | 瀬谷菊友会



講座当日の様子



菊の輪サロンの様子

● **スポーツ振興事業**

みんなで遊 Beach！はだしで楽しくビーチサッカー体験

瀬谷区を拠点とするビーチサッカーチーム、レーヴェ横浜と子ども・親子向けビーチサッカーイベントを実施しスポーツ振興を図りました。

開催日 | 令和8年3月28日（土）

参加者数 | 親子25組

講師 | レーヴェ横浜



イベント当日の様子

● **歴史・文化振興事業**

瀬谷まち歩きリーフレット『せやさんぽ』の作成

横浜グリーンエキスポに向けた取組として、区民及び区外の人に気軽に街歩きをしてもらうきっかけづくりのため、花や食、歴史遺産、みどころ等を取り入れた瀬谷まち歩きリーフレット「せやさんぽ」を作成しました。

配布時期 | 令和8年4月～



瀬谷まち歩きリーフレット「せやさんぽ」

瀬谷区民活動センター

住 所	瀬谷区二ツ橋町 469 せやまる・ふれあい館 2 階
交 通	相鉄線三ツ境駅 徒歩 12 分
電 話	045-369-7081
F A X	045-366-4670
利用時間	10:00~17:00
休 館 日	第 3 日曜、年末年始



瀬谷区民活動センターの特長

瀬谷区民活動センターは、せやまる・ふれあい館の 2 階にあります。子どもから高齢者までが集う 6 施設が連携できる環境の中で、地域の想いやつながりを大切にしながら、皆さんの「何かやりたい」を応援しています。

相談、コーディネート、ネットワークづくり

地域活動や学びに関する相談を受け付け、活動や交流につながるコーディネートを行っています。

情報発信・収集

登録団体の活動紹介やメンバー募集情報の発信、情報紙「せやまる通信」の発行を行っています。また、ホームページやよこむすびを通じて、講座やイベントなどの情報を随時発信しています。

人材の発掘・育成・活用

仕事や趣味等で培った知識や経験・特技などを活かして、地域の様々な場面でボランティアとして活動する個人・グループ「人材バンク」の登録、紹介（コーディネート）を行っています。

場の提供・機材の貸出

ミーティングコーナー（個室 定員 16 人、オープン 定員 24 人）、共用会議室（定員 18 人）で、会議や打合せができます。機材の貸し出しも行っています。



- ・相鉄線 三ツ境駅下車 徒歩 約 12 分。
- ・北口バス乗り場から相鉄バス「南瀬谷小学校」行き「中丸」バス停下車 徒歩 約 5 分。



● 団体・サークルガイド

団体・サークルガイドは、瀬谷区内及び近隣地域を中心に学習、文化、スポーツ、レクリエーションなどの活動を行っている団体・サークルの情報を区民のみなさんに提供するために、各団体・サークルの協力を得て作成しています。3年ごとに「サークルガイド」を発行し、配布しています。

登録数 231件

市民の声 「区内にこんなにサークルがあって驚きました」



サークルガイド

● 昼ドキイベント・せや

毎月第3金曜日に瀬谷公会堂講堂にて実施。公募による区内活動グループの季節感あふれるステージイベントを開催しました。

主なイベント 合唱、演奏、ダンス、ミュージカル、甚句 他

参加者数 1,279人(12回)

市民の声 「懐かしく楽しませていただいた」「心が和みました」



昼ドキイベント・せや

● おとなの楽校（きっかけづくり・事後グループづくり）

新たな区民活動の創出を目的に、様々な学びを通じた仲間づくりを行う連続講座を実施しました。修了生のグループ化を支援し、活動を続けています。

〈1期〉アロマ×体操＝リフレッシュ

開催日 令和7年9月7日、10月5日、11月2日

参加者数 13名 講師名 佐藤 攝子

〈2期〉水引ハンドメイド講座

開催日 令和7年10月26日、11月9日、30日

参加者数 16人 講師名 嶋津 静



アロマ×体操＝リフレッシュ



水引ハンドメイド講座

● トークサロン@区活

参加者をゆるやかに地域活動につなげることを目的とし、誰でも気軽に参加でき、ゲストを交えて自由なトークができる場として「トークサロン@区活」を実施しました。

第1回

コラージュ絵本作り

令和7年8月10日(日)

参加者数：10組(28人)



第2回

顔の見える野菜

令和7年12月7日(日)

参加者数：15人



第3回

カンパニユラの夢

映画上映会

令和8年2月28日(土)

参加者数：29人



第4回

祖父と孫が語る

地域への想い

令和8年3月14日(土)

参加者数：16人





横浜市生涯学習 令和7年度事業概要

令和8年7月 発行

発 行 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
問 合 せ 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
電話：045-671-3282
FAX：045-224-5863

本事業概要は
横浜市ウェブサイトからも
ご覧いただけます。



表紙・本文は紙ヘリサイクルできます。